

ドライブ レコーダー DRIVE RECORDER RD-60[Ⓐ]

取扱説明書 本体編

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。

なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSD カードについての取り扱い注意事項

microSD カードの挿入／取り出しの際は、本体から DC コードをはずし、必ず本体の動作 LED が消えたことを確認してからおこなってください。

microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができなくなる場合があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、オプションの microSD カードと交換してください。

microSD カードを新たに購入される場合は、オプションのドライブレコーダー専用 microSD カード (GDO-SD8G1/GDO-SD16G1/GDO-SD32G1/GDO-SD64G1/GDO-SD128G1) をおすすめします。

通常時画像設定やパーキングモードなどを変更すると microSD カードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルなどをバックアップすることをおすすめします。

パソコンなどで microSD カード内の録画ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

Copyright © 2023 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logoは登録商標です。

STARVISおよび **STARVIS** はソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

もくじ

はじめに	
本機の特長	4
安全上のご注意	8
microSD カードについての取り扱い注意事項	11
使用上の注意	13
録画についての注意事項	13
取り付けについての注意事項	13
microSD メンテナンスフリー機能について	14
パーキングモードについて	14
GPS について	15
本機の画面について	15
タッチパネルについて	15
ナイトクリア Ver.2 について	16
付属のコードについて	16
アイドリングストップ車での使用について	16
安全運転支援機能（本体カメラ・別体カメラ）について	16
GPS おしらせ機能について	17
レーザー受信について	17
レーダー受信について	18
専用ビューアソフトについて	18
カメラレンズの注意事項	18
事故発生時の注意事項	18
タイムラプス録画について	18
梱包内容の確認	19
梱包内容	19
オプション品	20
各部の名称	21
本体	21
別体カメラ	22
電源変換ユニット	22
取り付けと準備	
取り付け方法	23
本機の設置場所について	23
本体の取り付け	24
フロントガラスへの取り付け位置（正面）	24
フロントガラスへの取り付け位置（側面）	25
フロントガラスへの取り付け	26
別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合	27
取り付け位置（正面）	27
取り付け位置（側面）	28
リヤガラスへの取り付け	28
別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合	29
取り付け位置（側面）	29
リヤトレイへの取り付け	29
本体と別体カメラを接続	30
接続方法	30
別体カメラの設定	31
推奨設定	31
電源を接続する	32
ヒューズボックスから電源を取る場合	33
車両のアクセサリ電源コードから直接電源を取る場合	33
配線処理	34
microSD カードの挿入および取り出し	35
microSD カードの挿入	36
microSD カードの取り出し	37
基本操作	
製品の使用方法	38
タッチパネルについて	38
電源の ON/OFF	39
電源 ON	39
電源 OFF	39
エラーメッセージ	40
microSD カード認識エラー	40
microSD カードファイルシステムエラー	40
カメラ異常エラー	40
microSD カード異常エラー	40
本機の画面	41
録画モードの画面表示	41
画面表示「オン ノーマル」の画面	
* 工場出荷時	42
画面表示「オン セーフティレーダー」の画面	44
画面表示「オン 時計」の画面	45
画面表示「オン 速度」の画面	45
画面表示「オフ」の画面	45

録画方法 46

通常時録画について 46

 常時録画 46

 イベント録画 47

 クイック録画機能 (手動) 48

フレームレートの設定 49

 フレームレートの設定項目 49

パーキングモードについて 50

 オプションの常時電源コードを接続する 51

 パーキングモードの録画仕様について 51

 常時電源コードの設定 52

 パーキングモードの設定 53

 パーキングモード録画のオン / オフ切りかえ 54

 パーキングモード録画トリガの種類 55

 パーキングモード録画の動作 56

タイムラプス録画機能 57

 タイムラプス録画の設定 58

各種設定

各種設定の変更 59

設定の変更方法 59

設定一覧 60

 通常時画像設定「カスタム」時、設定内容一覧 64

 3G センサー感度「カスタム」時、
 設定内容一覧 64

 レーダー、レーザー機能、設定内容一覧 64

 パーキングモード設定の設定内容一覧 65

通常時画像設定 / パーキングモード画像設定 66

その他の機能 68

再生モード 68

 録画ファイルロック機能 68

安全運転支援機能 (本体カメラ) 69

 前車発車警告 69

 車間距離保持警告 69

 車線逸脱警告 69

 安全運転支援機能 (本体カメラ) の
 設定内容一覧 70

 キャリブレーション (本体カメラ) 70

安全運転支援機能 (別体カメラ) 72

 後車接近警告 72

 安全運転支援機能 (別体カメラ) の設定項目 72

 キャリブレーション (別体カメラ) 73

GPS おしらせ機能 74

 警告表示 75

 注意表示 76

 情報表示 77

レーダー、レーザー機能 78

 警告表示 78

MyCellstar について 79

 パソコンで GPS データをダウンロード 80

 スマートフォンで GPS データをダウンロード 81

GPS データ更新 81

GPS データの版数確認 82

GPS の測位について 82

 超速 GPS について 82

撮影モードについて 83

取扱説明書 QR コード表示 83

フォーマット 84

日時 85

システムリセットと強制初期化
(強制フォーマット) 86

 システムリセット 86

 強制初期化 (強制フォーマット) 86

タッチパネルのキャリブレーション設定 87

ドライブレコーダー
専用ビューアソフトについて 88

 専用ビューアソフトの動作環境 88

 専用ビューアソフトのインストール方法 88

困ったときは

故障かな?と思ったら 89

その他

製品の仕様 90

 SD カードのディレクトリ構造について 93

 SD カードの録画領域について 94

アフターサービス

アフターサービスについて 95

 修理に関して 95

本機の特長

本機はドライブレコーダーとしてのさまざまな機能を備えています。

☑ Check

- 本機をご使用になる前に必ず「安全上のご注意」(P8) および「使用上の注意」(P13) をお読みください。

■ 常時録画

[→ P46]

電源を ON にするだけで本体カメラと別体カメラが前方および後方を常時、録画しつづけます。



■ イベント録画 / クイック録画

[→ P47]、[→ P48]

衝撃を検知した場合にイベント録画が開始されます。また、手動でイベント録画に切り替えるクイック録画機能を備えています。

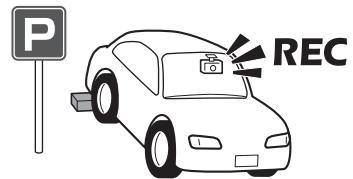


■ パーキングモード

[→ P50]

車のパワー(イグニッション)スイッチを OFF にし、アクセサリ電源が OFF になってから約 6 秒後に録画します。

- パーキングモードを利用するには、オプションの常時電源コードが必要になります。

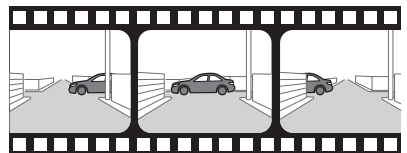


■ タイムラプス録画

[→ P57]

1 秒間に 1 枚の連続した静止画を映像データとして記録します。

- 長時間録画したい場合に便利な機能です。



■ 再生機能

録画した映像を本機の画面で再生して確認できます。

[→ P68]



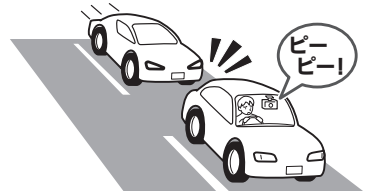
■ 安全運転支援機能

本体カメラと別体カメラで、前方と後方の安全面に対して次のサポートをおこないます。

- ・ 前車発車警告
- ・ 車間距離保持警告
- ・ 車線逸脱警告
- ・ 後車接近警告

[→ P69]、[→ P72]

後車接近警告の場合



■ GPS お知らせ機能 Ver.2

内蔵 GPS データで、速度取締機などの設置ポイントや事故多発エリアなど、運転に役立つさまざまな情報をお知らせします。

- ・ 速度取締機のお知らせ
- ・ 高速道路逆走注意エリアのお知らせ
- ・ ゾーン 30 区域のお知らせ
- ・ 事故多発エリア / 事故多発路線のお知らせ
- ・ 小中学校付近のお知らせ

[→ P74]



■ レーダー、レーザー機能

速度取締機などから発せられるレーダー波やレーザー光を受信し、お知らせします。

[→ P78]

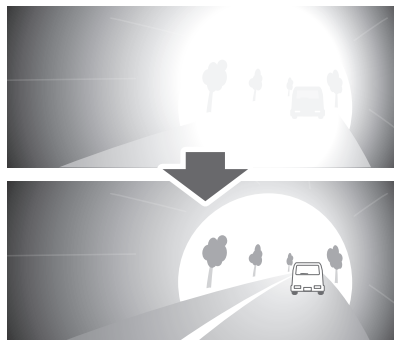


■ HDR（High Dynamic Range）機能

[→ P60]

明るさの急激な変化で映像が白く飛んでしまう場合や、黒くつぶれてしまう場合に適切な画像補正をおこないます。

- 「設定メニュー」の「カメラ設定」で設定できます。

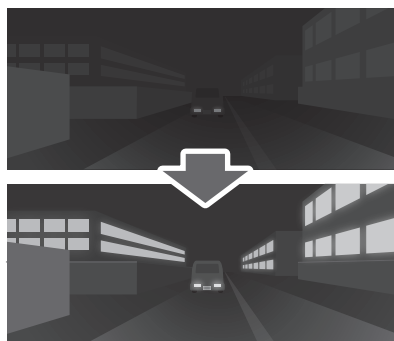


■ ナイトクリア機能

[→ P60]

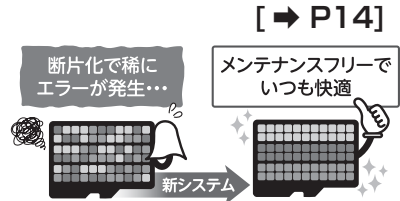
夜間やトンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。

- 「設定メニュー」の「カメラ設定」で設定できます。
- ナイトクリアによる画像補正は3段階から選択できます。



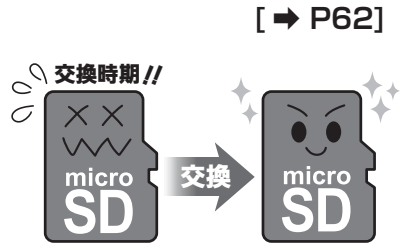
■ microSD カードメンテナンスフリー機能

ファイルの断片化による録画データのエラーを未然に防止することで、microSD カードの定期的なフォーマットが必要なくなります。



■ SD カード交換時期お知らせ機能




microSD カードは、書き込み回数が上限に達し、消耗すると交換時期となります。設定した交換時期（183日、365日、730日、1095日）に microSD カードの交換をお知らせします。






安全上のご注意




お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。



■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 ・ 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。



■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

 危険	
	本機は必ず定められた電圧 (DC12V/24V) でご使用ください。 ・ 火災や感電、故障の原因となります。
	運転中に本機を操作しないでください。 ・ 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
	本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。 ・ 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
	医療用電気機器の近くでは使用しないでください。 ・ ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
	水につけたり、水をかけたり、またはぬれた手では絶対に操作しないでください。 ・ 火災や感電、故障の原因となります。

 警告	
	本機の取り付けは、必ず車のパワー(イグニッション)スイッチを OFF にした状態でおこなってください。 ・ 感電および故障の原因となります。

⚠ 警告	
⊘	<p>本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
	<p>本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災などの原因となります。
	<p>本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
	<p>コードをはずすときは、必ずプラグ部分を持ってはずしてください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
	<p>本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。また、ゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
⚠	<p>本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。</p>
	<p>本体および別体カメラは、正しく取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本体を設置するフロントガラス、別体カメラを設置するリヤガラスまたはリヤトレイとマウントベースの底を脱脂クリーナーできれいに拭き、正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けていない場合、本体および別体カメラが設置面からはずれ運転中の事故につながる恐れがあります。
⚠ 注意	
!	<p>本機に強い衝撃を与えないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
	<p>本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の誤作動および故障の原因となります。
	<p>本機の近くには障害になるようなものを設置しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 周りに障害物があると GPS の受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
⊘	<p>本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 故障の原因となり保証を受けることができません。
	<p>本機は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。</p> <p>気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

 注意	
	<p>GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
	<p>フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。</p>
	<p>トンネル入出時のように急激に明るさがかわる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。</p>
	<p>暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドランプやフォグランプをつけてください。</p>
	<p>ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
	<p>本機は、推奨取付位置に設置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
<p>LED 方式の信号機などでは画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。</p>	

この装置は、クラス B 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - B

■ microSD カードについての取り扱い注意事項

microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して弊社は一切の責任を負いかねます。

⚠️ microSD カードについての注意事項	
	本機の通常時画像設定やパーキングモードなどの変更、microSD カードの状態によって、フォーマットが必要になります。
	付属の microSD カードをフォーマットすると録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
	microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
⚠️	市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
	microSD カードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
	microSD カードは消耗品です。一定使用期間（約1年）が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができなくなる場合があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
	microSD カードを取り出す際は、必ず本機から DC コードをはずし、必ず本体の動作 LED が消えたことを確認してから取りはずしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
	一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります） <ul style="list-style-type: none"> microSD カードを長期間使用しているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
❗	microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。 <ul style="list-style-type: none"> ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
	パソコンなどで microSD カード内の録画ファイルなどを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
	microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> 正しく動作しない場合があります。
	指定の microSD カード以外は使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

⚠️ microSD カードについての注意事項	
	<p>microSD カードスロットに異物を入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
	<p>油がついた手やぬれた手で microSD カードスロットを触らないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
	<p>データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
	<p>microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • microSD カードが破損するおそれがあります。
⚠️	<p>microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
	<p>microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
	<p>microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • microSD カード 8GB ~ 32GB(クラス 10/SDHC 規格準拠)、64GB ~ 128GB(クラス 10/SDXC 規格準拠) その他、スピードクラスとして下記以上を推奨 <ul style="list-style-type: none"> * SD スピード Class : Class10 UHS スピードクラス : U1 以上 Video スピードクラス : V30 以上 * 弊社オプション microSD カード推奨

使用上の注意

■ 録画についての注意事項

- ・ 本機は自動車などの事故における証拠としての効力、ナンバープレート・車種・色などの特定を保証するものではありません。
- ・ 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・ 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・ LED方式の信号機では録画の映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 走行中に本機を操作したり、LEDランプ、本機の画面を注視しないでください。車を停止し、周囲の安全を確認したうえで本機を操作してください。
- ・ 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・ 環境など様々な要因により、正しく録画されない場合があります。
- ・ 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- ・ 電源 ON のあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

■ 取り付けについての注意事項

- ・ 本機は、本書にしたがって、正しく取り付けてください。[➡ P23]
- ・ 誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また、交通事故やケガの原因となります。
- ・ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- ・ 本体および別体カメラは防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・ 本体を設置するフロントガラス、別体カメラを設置するリヤガラスまたはリヤトレイとマウントベースの底を脱脂クリーナーできれいに拭き、正しく確実に取り付けてください。
- ・ 誤作動を起こす可能性がありますので、地デジや ETC などのアンテナ近くには設置しないでください。
- ・ 本機を激突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどの近くに設置しないでください。
- ・ 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。
- ・ 本機を車検シールの上に貼らないでください。

■ microSD メンテナンスフリー機能について

- 本機の通常時画像設定やパーキングモードなどの変更により、microSD カードのフォーマットが発生し、セルスター独自のファイルシステムが適応されます。

microSD カードに録画する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。

- 本機の設定の内容や microSD カードの状態によって、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属の microSD カードは、工場出荷時の通常時画像設定でファイルシステムが適応されています。
- 新規購入した microSD カードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- パソコンなどで microSD カード内の録画ファイルなどを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本機能は microSD カードの寿命を延ばすものではありません。

■ パーキングモードについて

- パーキングモードを設定する場合は、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線 DC コードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの常時電源コードの電圧監視設定を 11.5V に設定しないでください。（12V 設定推奨）パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。
- 「設定メニュー」の「パーキングモード」を「オン」にすると、SD カードにパーキングモード録画領域が作成されます。通常時録画の保存可能な容量（時間）が減りますのでご注意ください。
- 冬季など気温の低い時期はバッテリーの能力が低下しますので、設定電圧を高く（12V 設定推奨）することをおすすめします。

■ GPS について

- GPS の受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
 - 前回の GPS 受信から 72 時間を経過すると超速 GPS は機能しません。
 - 最後に電源を OFF にしてから直線距離で 300km 以上離れた地点で電源を ON にした場合、GPS の動作に時間がかかる可能性があります。
- 自転車位置は、GPS の受信で測位されます。GPS が受信できない場所では、完全な自転車位置の測位をおこなうことができません。
- 録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPS の測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いため GPS が受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

■ 本機の画面について

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶パネルの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。本機の画面の明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶パネルの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- 本機の画面を太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

■ タッチパネルについて

- 走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、安全な場所に車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの反応にズレが発生した場合、「設定メニュー」の「キャリブレーション設定」にてタッチパネルを補正してください。[→ P87]
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

■ ナイトクリア Ver.2 について

- STARVIS™IMX307 搭載。STARVIS (スタービス) は、 $1 \mu\text{m}^2$ あたり、2000mV 以上 (カラー品、706cd/m² 光源撮像時、F5.6、1s 蓄積換算) の感度を有し、可視光領域に加え近赤外領域までの高画質を実現した、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサー用 裏面照射型画素技術です。
- 走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたは HDR ナイトクリア 1 ~ 3 で調整してください。[➡ P60]

■ 付属のコードについて

- 本機は専用の DC コード(3 極コネクタ 5V/2A)を使用してください。それ以外の DC コードを使用した場合、本機が正常に動作しません。
- 付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用、または他機種のコードを利用することはできません。

■ アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

■ 安全運転支援機能 (本体カメラ・別体カメラ) について

- 安全運転支援機能を使用する前に必ず本体カメラおよび別体カメラの「キャリブレーション」設定をおこなってください。[➡ P69]、[➡ P72]
- 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれると判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- 横切る車、ヘッドランプなどの ON/OFF により警告する場合があります。

■ GPS おしらせ機能について

- GPS データは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- 事故多発エリアは警視庁、国土交通省の統計データより集計していますが、集計の時期また、その後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告がひんぱんにおこなわれる場合があります。
- GPS の測位状態によっては動作しない場合があります。
- GPS おしらせ機能を使用する場合、「設定メニュー」の「GPS おしらせ機能」を「オン」にしてください。
- GPS データは「MyCellstar」のサイトから無料でダウンロードをおこない、最新データに更新ができます。なお、本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。

■ レーザー受信について

- レーザー受信部と速度取締機のレーザー光源を結んだ直線上に遮蔽物が存在すると受信できません。
- 次の場合、取締機のレーザー光が受信できない、または受信が遅くなる場合があります。
 - 速度取締機が直接視界に入らない形状の道路を走行中のとき。
 - 自車の前方に、車両、バイク、自転車や車道に飛び出した街路樹などが存在するとき。
 - レーザー受信部に朝日や西日などが直接入射しているとき。
 - 過度な悪天候のとき（豪雨や大雪、濃霧など）。
 - 降雪時、ワイパー動作で払拭されない領域によりレーザー受信部が隠れるとき。
 - レーザー光を使用した車両検知器や衝突回避システムなど安全運転支援装置を装着した車両に近づいたとき。
 - レーザー受信は、受信時の状態（天候、走行状況など）や本体の設定内容など様々な要因により警告動作に影響が出る場合があります。

■ レーダー受信について

- 設置されている速度取締機の中には稼動していないものもあります。この場合、レーダーを使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- 取締りレーダー以外でも、同一チャンネルなどの電波を受信し警告動作をする場合がありますが、誤動作ではありません。
- ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上 距離的余裕をもってお知らせすることができません。ステルスアラームが鳴ったときにはすでに計測されている場合があります。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダーを受信しにくい状態になる場合があります。
- レーダー受信は、受信時の状態（天候、走行状況など）や 本体の設定内容など様々な要因により警告動作に影響が出る場合があります。

■ 専用ビューアソフトについて

- 専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記 URL よりダウンロードしてください。
(https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php)

■ カメラレンズの注意事項

本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。

- レンズ部分は大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

■ 事故発生時の注意事項

- イベント録画が保存されない場合があるため、事故発生時は本機から microSD カードを取り出し、付属の microSD カードケースに保管してください。【➡ P37】
- パソコンで microSD カードを読み込んだ際、SD カードのエラーメッセージが表示される場合がありますが CHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。録画ファイルが完全に消えてしまう可能性があります。
- 記録した映像は Windows パソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。

■ タイムラプス録画について

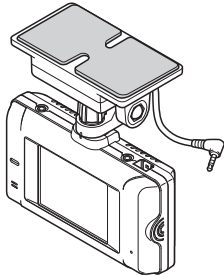


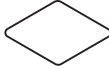
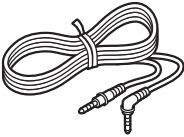

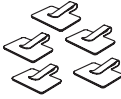
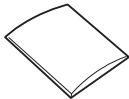
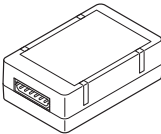
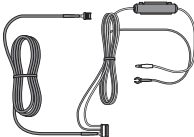

- タイムラプス録画は、1 秒間に 1 枚の連続した静止画を映像データにした専用の録画モードとなります。
- 通常時録画のようにすべての映像が記録されていない可能性があります。
- 音声、3G センサー情報、位置情報のデータは記録されません。

梱包内容の確認

■ 梱包内容


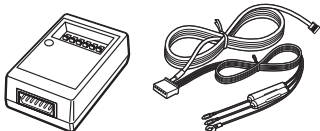
本機を使用する前に、必ず梱包内容を確認してください。

- その他注意書きが同梱している場合があります。

<input type="checkbox"/> ドライブレコーダー本体 (GPS マウントベース一体型) 	<input type="checkbox"/> 別体カメラ (マウントベース一体型) 	<input type="checkbox"/> 別体カメラ用両面テープ (ガラス用)  色：黒	
<p>あらかじめ両面テープ (ガラス用) が貼られています。</p> <input type="checkbox"/> 別体カメラ用両面テープ (リヤトレイ用)  色：グレー	<input type="checkbox"/> カメラ接続コード (片側ストレート)  コード長：9.0m	<input type="checkbox"/> microSD カード (ケース、アダプター付き)  64GB ドライブレコーダー本体に挿入されています。	<input type="checkbox"/> コードクリップ 5 個 
<input type="checkbox"/> 脱脂クリーナー 一式 	<input type="checkbox"/> 電源変換ユニット 	<input type="checkbox"/> 直結配線 DC コード (3 極コネクタ 5V/2A)  コード長：5.0m	<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書) 

■ オプション品

別途お買い求めください。

品名	使用目的／仕様	品番
ドライブレコーダー専用 microSD カード 	microSD カードを新たに購入される場合は、セルスターオプションのドライブレコーダー専用 microSD カードをおすすめします。	8GB: GDO-SD8G1 16GB: GDO-SD16G1 32GB: GDO-SD32G1 64GB: GDO-SD64G1 128GB: GDO-SD128G1
常時電源コード（3 極コネクタ 5V/2A） 	パーキングモード機能を利用する場合に使用します。最大 12 時間まで電源を供給します。【➡ P50】	GDO-45 コード長：5.0m

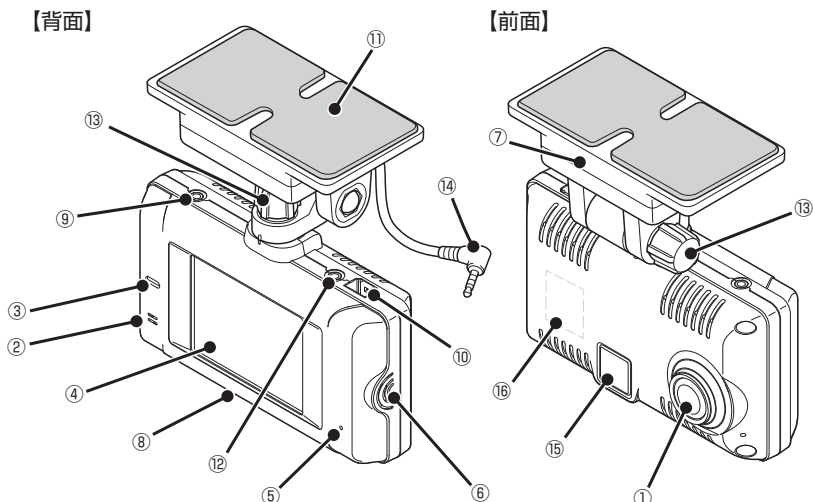


本機に適合したオプション品の型番、最新の情報については、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。

https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

各部の名称

■ 本体



① 撮影用カメラレンズ

出荷時に保護フィルムが貼られています。
・ 剥がしてから、使用してください。

② マイク

録画中の音声を録音します。

③ LED ランプ

本機の動作状態を表示します。

④ 画面 (感圧式タッチパネル)

カメラの録画映像、再生、「設定メニュー」の変更画面などを表示し、指でタップして操作します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑦ GPS アンテナ

GPS、みちびき、グロナス、ガリレオなどの衛星を受信します。

⑧ microSD カードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。

・ microSD カードを挿入していないと録画が開始されません。

⑨ カメラ接続ソケット (CAM)

付属のカメラ接続コード (L 字端子側) で別体カメラを接続します。
・ 端子の向きは入れかわっても問題はありません。

⑩ DC 入力ソケット (DC IN 5V)

付属の直結配線 DC コードまたはオプションの常時電源コードを接続し、DC5V を本機に入力します。

⑪ マウントベース

あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

⑫ GPS 接続ソケット (GPS)

マウントベースから出ている GPS 端子を接続します。

⑬ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

⑭ GPS 端子

本体の GPS 接続ソケットに接続します。

⑮ レーザー受信部

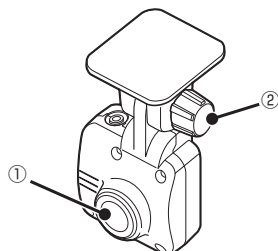
レーザー式オービスからのレーザー光を受信します。

⑯ レーダーアンテナ

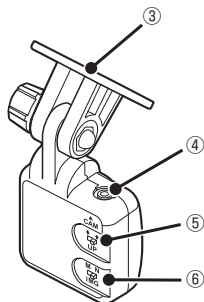
レーダー (Xバンド、Kバンド) を受信します。

別体カメラ

【前面】

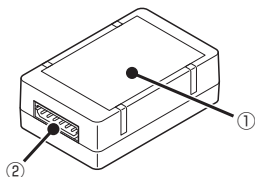


【背面】



- ① 撮影用カメラレンズ
出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がしてから、使用してください。
- ② 角度調整ノブ
別体カメラの取り付け角度を調整します。
- ③ マウントベース
付属の別体カメラ用両面テープ（ガラス用 / リヤトレイ用）で
リヤガラスまたはリヤトレイに取り付けます。
- ④ カメラ接続ソケット (CAM)
付属のカメラ接続コード（ストレート端子側）で本体に接続します。
端子の向きは入れかわっても問題はありません。
- ⑤ 上下切りかえスイッチ
カメラ映像の上下反転時に使用します。
- ⑥ 正像鏡像切りかえスイッチ
カメラ映像の左右反転時に使用します。

電源変換ユニット



- ① 電源変換
12V 車または 24V 車からの電源を DC5V に変換します。
- ② 直結配線 DC コード接続ソケット
直結配線 DC コードの端子を接続します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチを OFF にし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用の DC コード（3 極コネクタ 5V/2A）以外のコードを使用しないでください。
- 本体および別体カメラを設置した部分のガラスに汚れがあると十分な映像を撮影できない可能性がありますので、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、録画映像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は上空からの GPS 信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本体および別体カメラは防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本体および別体カメラがはずれる場合があります。本体を設置するフロントガラス、別体カメラを設置するリヤガラスまたはリヤトレイとマウントベースの底を脱脂クリーナーできれいに拭き、正しく確実に取り付けてください。

■ 本機の設置場所について

カメラ部	設置場所	参照先
本体	フロントガラス	[→ P24]
別体カメラ	フロントガラス	[→ P27]
	リヤトレイ（セダンなどの場合）	[→ P29]

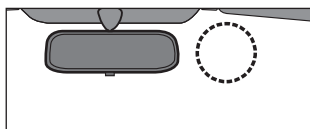
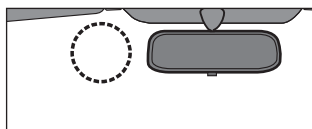
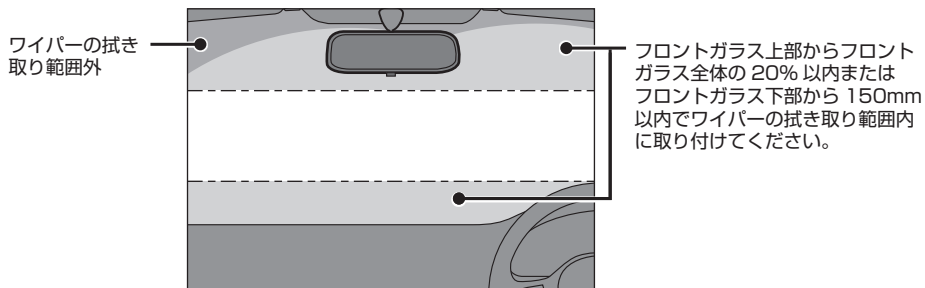
⚠ 注意

本体は、ダッシュボードには取り付けられません。

■ 本体の取り付け

フロントガラスへの取り付け位置 (正面)

フロントガラス



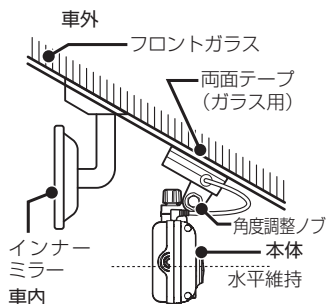
車検シールを避けて取り付けます。

☑ Check

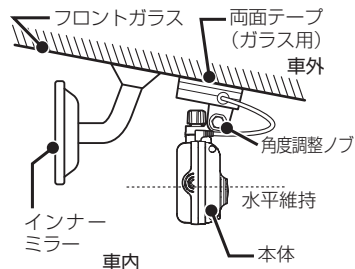
- フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用して車両のインナーミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
- 中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。
- 車両のワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、フロントガラスの汚れや雨などにより録画映像が見づらくなる場合があります。
- 本機を助手席側に取り付ける場合、エアバッグの展開による影響がない場所に設置してください。

フロントガラスへの取り付け位置 (側面)

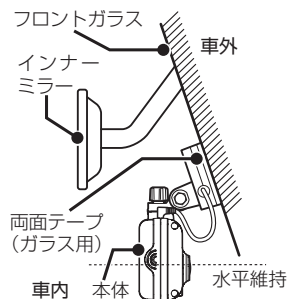
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



■ ワンボックスやトラックなど

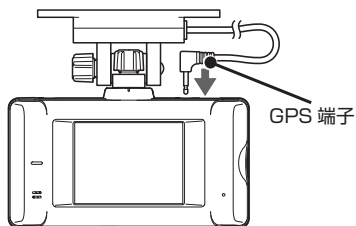


☑ Check

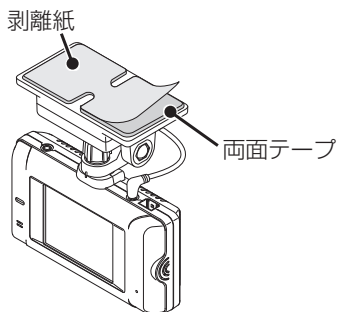
- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

フロントガラスへの取り付け

1. マウントベースから出ている GPS 端子を本体の GPS 接続ソケットに接続する。

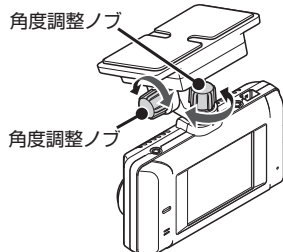


2. 剥離紙をはがし、あらかじめ貼られている両面テープ (ガラス用) を使用して本体を設置する場所に取り付ける。

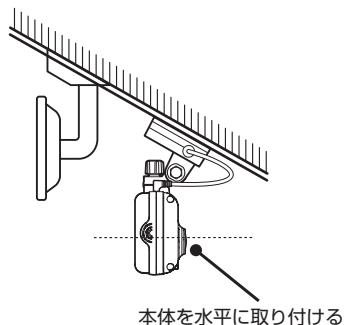


* 取り付け位置については、「フロントガラスへの取り付け位置 (正面)」(P24) および「フロントガラスへの取り付け位置 (側面)」(P25) を参照してください。

3. 角度調整ノブを回して本体が水平になるように調整する。



4. 本体が水平に取り付けられていることを確認する。



☑ Check

- 本体が固定されていない場合は、角度調整ノブを回して、本体を水平に固定してください。

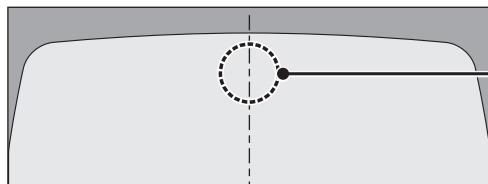
■ 別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合

セダンなどのリヤトレイに設置することもできます。[➡ P29]

取り付け位置 (正面)

図のように別体カメラ後方を遮ることがないように取り付けてください。

リヤガラス



リアガラスの熱線避け中央位置に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。

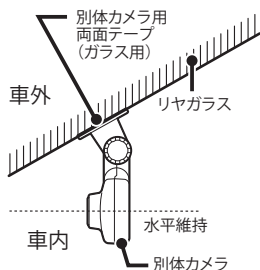
☑ Check

- 両面テープの貼り付け面がリヤガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見つからない場合があります。
- リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画映像が見つからない場合があります。
- ハイマウントストップランプの直接の光や隙間から漏れた光により映像が赤く見つからない場合があります。必要に応じ遮光するなどの対策をしてください。
- 後続車両のライトにより、録画した映像が見つからない場合があります。
- リヤガラスが汚れていたり、雨滴が付いていると光が乱反射し、映像が見つからない場合があります。
- リヤガラスが可動する車両やリヤガラスにフィルムを貼られている車両は、別体カメラをリヤトレイなどに取り付けてください。

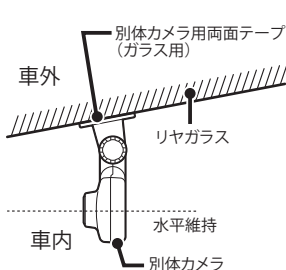
取り付け位置（側面）

- 図のように別体カメラ後方を遮ることがないように取り付けてください。
- 別体カメラが取り付けられた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リヤガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。

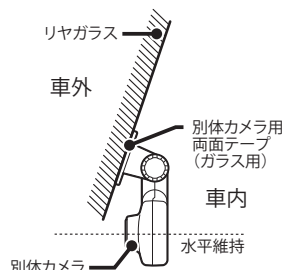
■ 一般的な乗用車



■ リヤガラスが寝ている車

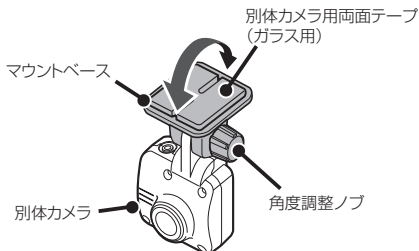


■ ワンボックスやトラックなど



リヤガラスへの取り付け

1. 別体カメラ用両面テープ（ガラス用）を使用してリヤガラスに取り付ける。
* 推奨の設置位置を参照して、熱線を避けて取り付けてください。
2. 角度調整ノブを右側にまわして別体カメラの角度を固定する。
* 角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



3. 本体が水平に取り付けられていることを確認する。

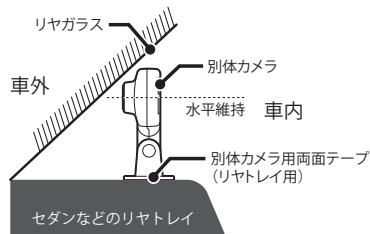
☑ Check

- 本体が固定されていない場合は、角度調整ノブを回して、本体を水平に固定してください。
- 別体カメラの上下切りかえスイッチを↑に変更してください。[➡ P30]

■ 別体カメラをリヤトレイに取り付ける場合

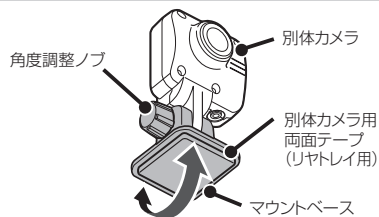
取り付け位置 (側面)

図のように別体カメラのレンズ部分を遮ることがないように取り付けてください。



リヤトレイへの取り付け

1. 別体カメラ用両面テープ (リヤトレイ用) を使用してセダン車などのリヤトレイに取り付ける。
2. 角度調整ノブを右側にまわして別体カメラの角度を固定する。
* 角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



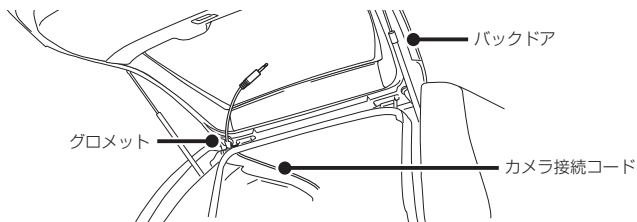
☑Check

- プライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見つらなくなる場合があります。
- リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画映像が見つらなくなる場合があります。
- ハイマウントストップランプの直接の光や隙間から漏れた光により映像が赤く見つらなくなる場合があります。必要に応じ遮光するなどの対策をしてください。
- 後続車両のライトにより、録画した映像が見つらなくなる場合があります。
- リヤガラスが汚れていたり、雨滴が付いていると光が乱反射し、映像が見つらなくなる場合があります。

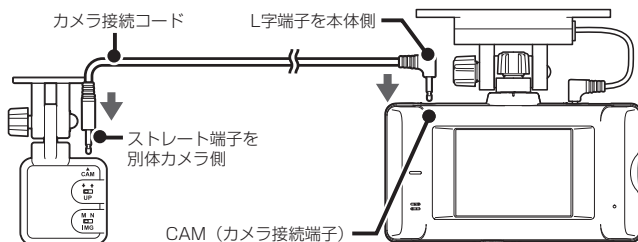
■ 本体と別体カメラを接続

接続方法

1. 別体カメラに接続するカメラ接続コードを配線する。
* バックドアがある車は、カメラ接続コードをグローメット内に通して配線してください。



2. 付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続する。



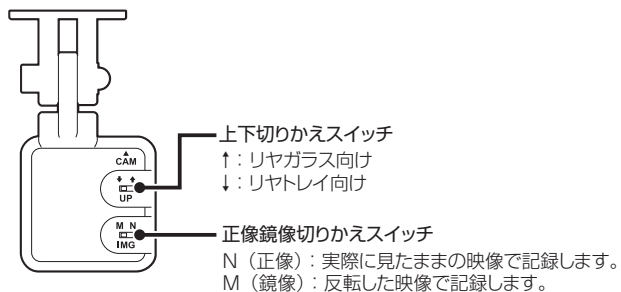
☑ Check

- カメラ接続コードの端子の向きは入れかわっても使用上問題ありません。ガラスに干渉しないよう接続してください。
- カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりとまっすぐに差し込んでください。
- カメラ接続コードは、雨漏りしないよう配線してください。
- 付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用することはできません。
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。

■ 別体カメラの設定

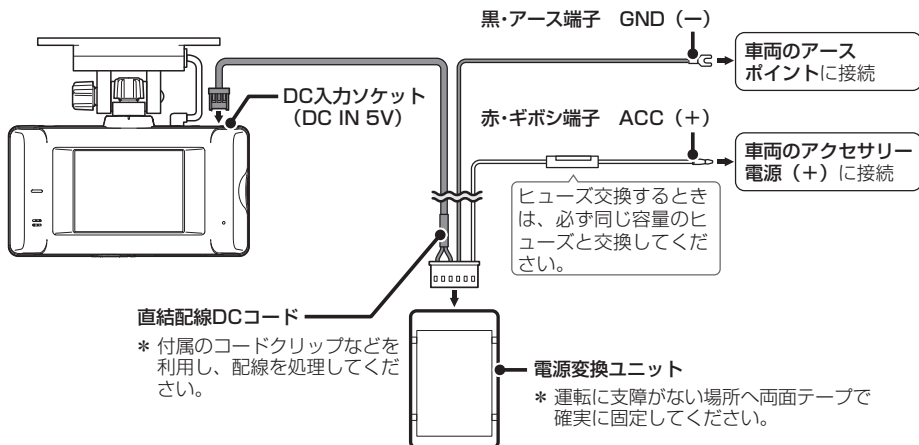
別体カメラの設置場所にあわせて別体カメラの設定を変更します。

推奨設定



■ 電源を接続する

12V 車または 24V 車からの電源を DC5V に変換し、本機に通常時の電源を入力します。

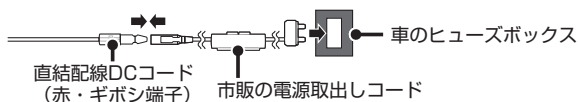


☑ Check

- アース端子はボディの金属部に接続してください。
【取り付けに適している場所】
 - 車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）【取り付けに適さない場所】
 - アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピングネジなど）
 - チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分
- 車のパワー（イグニッション）スイッチを入れて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。
 - コード類の接続
 - 車、または DC コード内のヒューズ
- DC コードをドライブレコーダー本体から無理やり取り外すとコードが断線してしまう可能性があります。
DC コードを取り外す際は、コネクタにあるツメを押しながら取り外してください。

ヒューズボックスから電源を取る場合

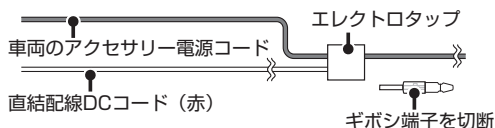
1. アクセサリー電源 ON/OFF に連動するヒューズボックス内のヒューズ（アクセサリソケット、ラジオ）などを探す。
2. 直結配線 DC コード（赤・ギボシ端子）と市販の電源取出コードを接続し、ヒューズボックスに差し込む。



3. 直結配線 DC コード（黒・アース端子）を車両のアースポイントに接続する。

車両のアクセサリ電源コードから直接電源を取る場合

1. テスターなどで車のキーを ON にしたとき 12V または 24V、OFF にしたとき OV になるアクセサリ電源コードを探す。
2. 直結配線 DC コード（赤）のギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップを使用して車両のアクセサリ電源コードへ接続する。

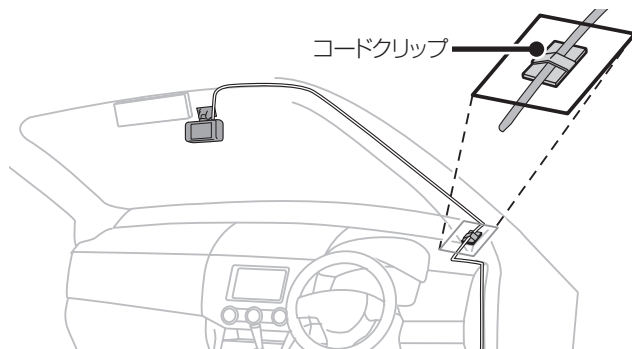


3. 直結配線 DC コード（黒・アース端子）を車両のアースポイントに接続する。

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。



⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などをはずさないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

microSD カードの挿入および取り出し

⚠ 注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSD カードは、指定の microSD カードをご使用ください。なお、microSD カードは、本機に挿入されています。指定以外の microSD カードを使用されると、データの損失や録画できない可能性があります。
- microSD カードを電源が ON になっている状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSD カードを取り出すときは、本機から DC コードをはずし、必ず本体の動作 LED が消えたことを確認してください。
その後 microSD カードを取り出してください。

動作 LED が点灯している状態で microSD カードを取り出すと録画を終了することができず、録画ファイルへの記録が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によっては microSD カードが破損するおそれがあります。

- microSD カードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
- 本機の設定変更や microSD カードの状態によって、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属の microSD カード以外を挿入すると、microSD カード異常エラーや microSD カードファイルシステムエラーを表示する場合があります。画面の指示にしたがってフォーマットをおこなってください。
- microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどで microSD カード内の録画ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本体の設定情報は、microSD カード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たな microSD カードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値にもどります。

☑ Check

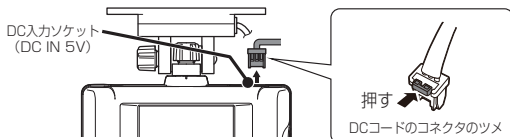
- microSD カードを挿入していないと録画が開始されません。
- microSD カードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないと microSD カードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSD カードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

■ microSD カードの挿入

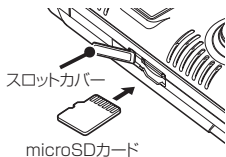
☑ Check

- 必ず、本体から DC コードをはずし、電源が OFF になっていることを確認してからおこなってください。

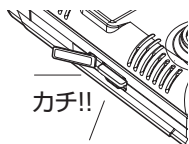
1. 本体から DC コードのコネクタのツメを押しながらずし、電源が OFF になっていることを確認する。



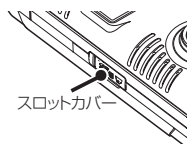
2. 本体のスロットカバーをめくり、microSD カードの向きに注意してスロットに挿入する。



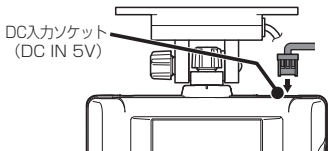
3. microSD カードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。



4. スロットカバーを閉じる。



5. 本体に DC コードを接続する。

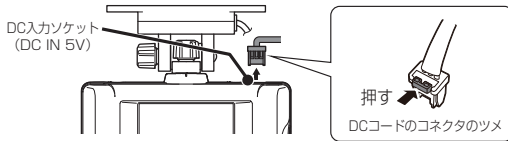


■ microSD カードの取り出し

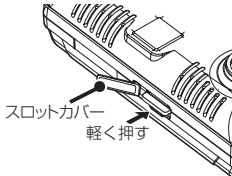
☑ Check

- 必ず、本体から DC コードをはずし、電源が OFF になっていることを確認してからおこなってください。

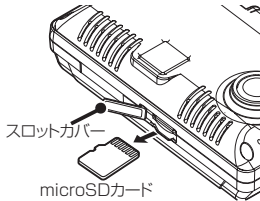
1. 本体から DC コードのコンネクタのツメを押しながらずし、電源が OFF になっていることを確認する。



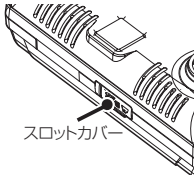
2. 本体のスロットカバーをめくり、microSD カードを軽く押し込む。



3. microSD カードを取り出す。



4. スロットカバーを閉じる。



製品の使用方法

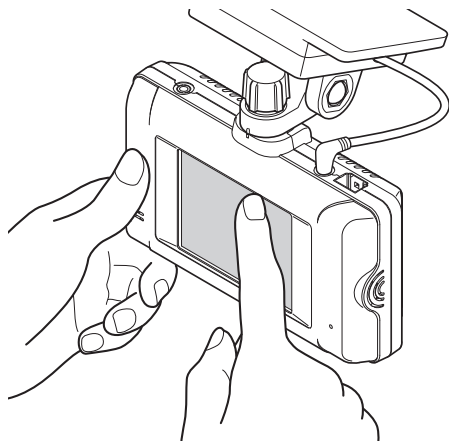
⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、安全な場所に車両を停車してから操作をおこなってください。
- 録画は、microSD カードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 録画中に microSD カードが取り出されると警告音がなり、録画した映像の一部が削除されたり microSD カードがこわれる場合があります。
- 電源 ON のあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸・アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて（タップして）おこないます。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタップしてください。



■ タッチパネルの操作

- タップ： 画面をタッチして、すぐ指を離す動作
ロングタップ： 画面をタッチして、ゆっくり数えて 3 秒後に指を離す動作

⚠ 注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化すると 3 G センサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きをもどし電源を入れなおしてください。
- 操作の実行は、タッチパネルをタップして指を離れたときに判定されます。また、タップした場所と指を離れた場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
- 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタップして操作してください。また、2 箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

☑ Check

- タッチパネルの反応にズレが発生した場合、「設定メニュー」の「キャリブレーション設定」にてタッチパネルを補正してください。[➡ P87]

■ 電源の ON/OFF

電源 ON



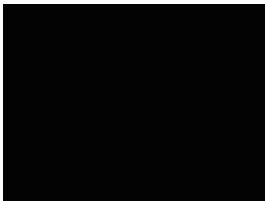
本機には電源ボタンがありません。

車のパワー（イグニッション）スイッチを ON にすると、本機の電源が ON になり、効果音（♪ピロロリン）とボイスアシスト（常時録画の開始と現在のパーキングモード設定 * 常時電源コード接続時）を出力し、通常時録画の常時が開始されます。

☑ Check

- 本機の電源が ON にならない場合、「故障かな?と思ったら」を参照してください。[➡ P89]
- 通常時画像設定により本機の画面に表示されるカメラ映像の解像度は異なります。
- 「設定メニュー」の「パーキングモードおしらせ」を「オン」にすると、本機の起動時に現在のパーキングモードをお知らせします。[➡ P54]

電源 OFF



パワー（イグニッション）スイッチを OFF にすると、スーパーキャパシタ*により、最後の録画ファイルを安全に保存します。動作 LED が消灯し、効果音（♪ピ）のあと、自動的に電源が OFF になります。

* スーパーキャパシタ：高温に強く安全性が高い、蓄電能力を持つコンデンサ。

☑ Check

- 本機の電源が ON にならない場合、「故障かな?と思ったら」を参照してください。[➡ P89]

■ エラーメッセージ

microSD カード認識エラー

❗ SDカード認識エラー

SDカードが「挿入されていない」「破損している」などの異常です。

microSD カードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、動作 LED が消灯し、効果音（♪ ポロロン*繰り返し）とボイスアシスト（SD カードを認識しません）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示します。

☑ Check

- ・ フォーマットしても本機の画面に「SD カード認識エラー」が表示される場合は、microSD カードを交換してください。

microSD カードファイルシステムエラー

⚠ 確認してください

SDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが間違っているため、SDカードをフォーマットします。（フォーマットするデータは全て消去されます）

実行

新しい microSD カードに交換した際に、microSD カードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違う場合は、動作 LED が消灯し、効果音（♪ ポロロン*繰り返し）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

☑ Check

- ・ 「実行」ボタンをタップすると確認画面に切りかわります。再度「実行」ボタンをタップしてフォーマットを実行してください。

カメラ異常エラー

❗ カメラ異常エラー

カメラに異常があります。カスタマーサービスまでご連絡ください。

カメラの初期化エラーなどが発生した場合、動作 LED が消灯し、効果音が出力され、本機の画面に左のエラーを表示します。

☑ Check

- ・ 本機の画面に「カメラに異常があります」が表示された場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。

microSD カード異常エラー

❗ SDカードエラー

SDカードに異常があります。新しいSDカードに交換してください。

microSD カードの書き込み禁止モードを検知した場合、動作 LED が消灯し、効果音（♪ ポロロン*繰り返し）を出力し、本機の画面に左のエラーを表示します。

☑ Check

- ・ 新しい microSD カードに交換してください。

■ 本機の画面

本機の電源が ON になると、自動で録画モードの通常時録画を開始（工場出荷時）し、次の画面を表示します。

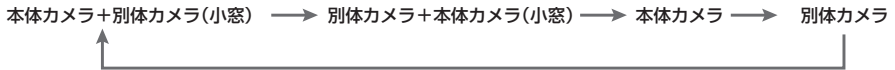
【MENU】をタップして、モード切替え画面から「設定メニュー」の変更や録画映像の再生などがおこなえます。



モード切替え画面へ

☑ Check

- 再生する場合は「再生モード」【➡ P68】、「設定メニュー」の変更は「設定の変更方法」【➡ P59】をご覧ください。
- 本書は、工場出荷時の表示画面で説明しています。
- アイコン表示オフの場合、画面をタップするとモード切替え画面に切りかわります。
- 別体カメラ接続時、画面をロングタップ（3秒後指を離す動作）すると、本機の画面に表示される映像が次のように切りかわります。



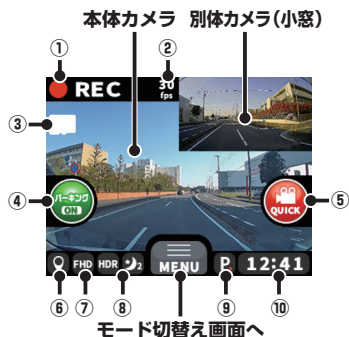
録画モードの画面表示

本機は「設定メニュー」の「画面表示」で録画モードの画面表示を設定できます。【➡ P61】
設定した画面表示によって、表示される画面が異なります。

- ・ オン ノーマル
- ・ オン セーフティレーダー
- ・ オン 時計
- ・ オン 速度
- ・ オフ
- ・ オフ 画面、LED、ボイス

画面表示「オン ノーマル」の画面 *工場出荷時

「設定メニュー」の「画面表示」で「オン ノーマル」を選択した場合は、以下の画面が表示されます。[➡ P61]



No.	アイコン	説明
①	常時録画	常時録画中に表示されます。 このアイコンをタップするとクイック録画に切りかわります。
	イベント録画	衝撃などのイベント発生によってイベント録画に切り替わった場合に表示されます。録画中は操作できません
	クイック録画	【クイック録画】 ボタンまたは【●REC】をタップしてクイック録画に切り替わった場合に表示されます。録画中は操作できません
	タイムラプス録画	1秒間に1枚の連続した静止画を映像データとして録画するタイムラプス録画中に表示されます。
②	フレームレート	現在のフレームレートが30fpsを示しています。
	フレームレート	現在のフレームレートが10fpsを示しています。
③	SDカード消耗お知らせ	あらかじめ設定したmicroSDカードの交換時期になるとアイコンが点滅表示します。
④	パーキングモードボタン	ボタンをタップするとパーキングモードのオン / オフが切りかわります。 パーキングモードをオンにすると、車のパワー (イグニッション) スイッチおよびアクセサリ電源がOFFの状態でも録画できます。 ・パーキングモードボタンは、オプションの常時電源コードを接続し、パーキングモードをオンにすると表示します。
⑤	クイック録画ボタン	ボタンをタップするとクイック録画を開始します。
⑥	GPS	GPS衛星を測位するとアイコンが表示されます。

No.	アイコン	説明	
⑦		通常時画像設定	「通常時画像設定」が高画質 (FHD) に設定されている場合に表示されます。【➡ P60】
			「通常時画像設定」が標準 (HD) に設定されている場合に表示されます。【➡ P60】
			「通常時画像設定」が長時間 (D1) に設定されている場合に表示されます。【➡ P60】
⑧		カメラ設定	「本体カメラ設定」 / 「別体カメラ設定」がノーマルに設定されていることを示します。【➡ P60】
			「本体カメラ設定」 / 「別体カメラ設定」がHDR (High Dynamic Range) に設定されていることを示します。 明るさが急激に変化した場合などに適切な画像補正をおこないます。 【➡ P60】
			「本体カメラ設定」 / 「別体カメラ設定」がナイトクリアに設定されていることを示します。【➡ P60】 夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。
			「本体カメラ設定」 / 「別体カメラ設定」がHDRとナイトクリア1 (光量効果は小) による画像補正が設定されていることを示します。 【➡ P60】
			「本体カメラ設定」 / 「別体カメラ設定」がHDRとナイトクリア2 (光量効果は中) による画像補正が設定されていることを示します。 【➡ P60】
			「本体カメラ設定」 / 「別体カメラ設定」がHDRとナイトクリア3 (光量効果は大) による画像補正が設定されていることを示します。 【➡ P60】
⑨		パーキングモード	パーキングモードがオンの場合に表示されます。【➡ P65】
			パーキングモードがオンで録画ファイルがある場合に表示されます。 【➡ P60】
			パーキングモードがオフの場合に表示されます。【➡ P60】
⑩	時間	内蔵時計の時間を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> GPS 端子が接続されている場合は、GPS により日時を取得します。 GPS 端子が接続されていない場合は、本機内蔵時計の時刻を表示します。 	
⑪	 別体カメラ未接続アイコン	別体カメラが接続されていない場合に表示されます。 別体カメラ (小窓) は表示されません。	

☑ Check

- ・「設定メニュー」の「アイコン表示」を「オフ」にするとアイコンを非表示にできます。
【➡ P61】

.....

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

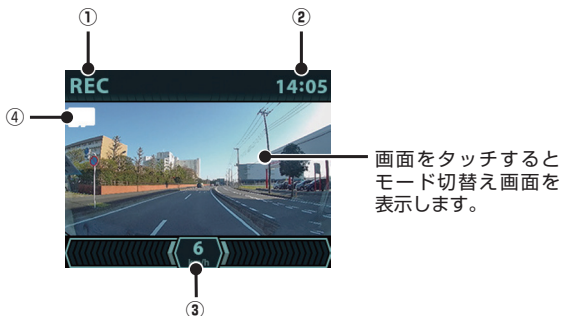
困ったときは

その他

アフターサービス

画面表示「オン セーフティレコーダー」の画面

「設定メニュー」の「画面表示」で「オン セーフティレコーダー」を選択した場合は、以下の画面が表示されます。[⇒ P61]



No.	アイコン		説明
①		常時録画	常時録画中に表示されます。 このアイコンをタップするとクイック録画に切りかわります。
		イベント録画	衝撃などのイベント発生によってイベント録画に切り替わった場合に表示されます。録画中は操作できません
		クイック録画	【REC】をタップしてクイック録画に切り替わった場合に表示されます。録画中は操作できません
②	時間	内蔵時計の時間を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> GPS 端子が接続されている場合は、GPS により日時を取得します。 GPS 端子が接続されていない場合は、本機内蔵時計の時刻を表示します。 	
③		自車の速度が数値と左右のインジケーターで表示されます。	
④		SD カード消耗お知らせ	あらかじめ設定した microSD カードの交換時期になるとアイコンが点滅表示します。

画面表示「オン 時計」の画面

「設定メニュー」の「画面表示」で「オン 時計」を選択した場合は、以下の画面が表示されます。[→ P61]

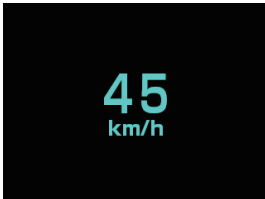


☑Check

- 画面をタップするとカメラ映像を表示して、「設定メニュー」やクイック録画の操作が可能になります。
- カメラ映像を表示していない場合も録画されます。

画面表示「オン 速度」の画面

「設定メニュー」の「画面表示」で「オン 速度」を選択した場合は、以下の画面が表示されます。[→ P61]

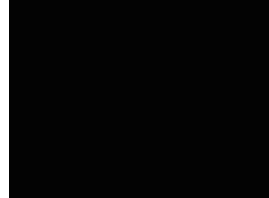


☑Check

- 画面をタップするとカメラ映像を表示して、「設定メニュー」やクイック録画の操作が可能になります。
- カメラ映像を表示していない場合も録画されます。
- GPS が未測位のときは、「--km/h」と表示されます。

画面表示「オフ」の画面

「設定メニュー」の「画面表示」で「オフ」、または「オフ 画面、LED、ボイス」を選択した場合は、以下の画面が表示されます。[→ P61]



☑Check

- 画面をタップするとカメラ映像を表示して、「設定メニュー」やクイック録画の操作が可能になります。
- カメラ映像を表示していない場合も録画されます。
- 「オフ 画面、LED、ボイス」を選択した場合は、LED が消え、ボイスがミュートになります。

録画方法

■ 通常時録画について

通常時録画には以下の3通りの録画モードがあります。

それぞれ録画トリガ(条件)、録画データの保存先などが異なります。

録画の種類	説明	保存フォルダ名	ファイル名
常時録画	本機の電源がONになると、自動的に常時録画が開始されます。	[N_INFINITE] └ [1] 本体カメラ └ [2] 別体カメラ	30fps : NN3_****.avi 10fps : NN1_****.avi
イベント録画	衝撃を検知した場合、常時録画を中断して、イベント録画として録画されます。		
クイック録画	イベント録画を手動でおこなう機能です。 【クイック録画】ボタンまたは【●REC】をタップすると、クイック録画として録画されます。	[N_EVENT] └ [1] 本体カメラ └ [2] 別体カメラ	30fps : NE3_****.avi 10fps : NE1_****.avi

☑Check

- ファイル名(****)に年月日-時分秒-インデックス(識別)_カメラ番号(1:本体カメラ/2:別体カメラ)が入ります。
(例:230501-162810-000001_1は、2023年5月1日16時28分10秒、本体カメラ)
- 録画ファイルをロックした場合、ファイルは上書きされなくなります。【➡ P68】
- 録画中の音声を録音しない場合、「設定メニュー」の「音声録音」を「オフ」にしてください。【➡ P60】
- パーキングモード【➡ P50】、タイムラプス録画【➡ P57】は専用の録画モードとなります。
- SDカードの最大保存容量は、パーキングモードのオン、録画領域(大または小)設定により変動します。【➡ P53】、【➡ P94】

常時録画

効果音(♪ピロリロリン)とボイスアシスト(常時録画を開始します)を出力し、常時録画が開始されます。常時録画中、動作LEDは緑色点滅(1秒間点灯と1秒間消灯を繰り返す)し、1分単位で録画し続けます。

- フレームレートが30fpsの場合は1分単位で録画し続けます。
- フレームレートが10fpsの場合は3分単位で録画し続けます。

1分(3分) | 1分(3分) | 1分(3分) | 1分(3分) | 1分(3分) ➡

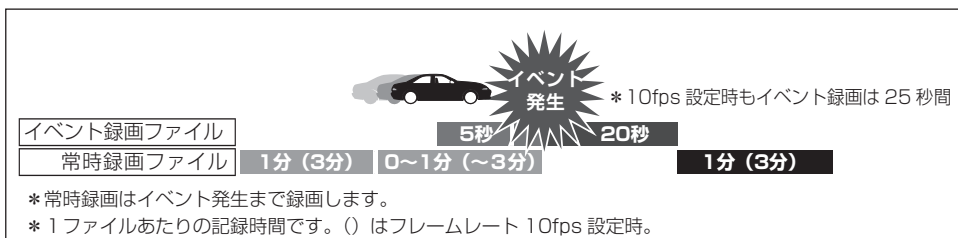
継続...

* 1ファイルあたりの記録時間です。()はフレームレート10fps設定時。

イベント録画

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合や手動でクイック録画を開始した場合、常時録画を中断して、効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（イベント録画を開始します / クイック録画を開始します）を出力し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画中、動作 LED が速い緑色点滅（0.5 秒点灯と 0.5 秒消灯を繰り返す）します。録画終了後、常時録画にもどります。

- ・ フレームレートが 30fps の場合は 1 分単位で録画し続けます。
- ・ フレームレートが 10fps の場合は 3 分単位で録画し続けます。



☑Check.....

- ・ イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。3G センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。3G センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「設定メニュー」の「3G センサー感度」で調整することができます。[➡ P61]
- ・ 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- ・ 録画ファイルが microSD カードの録画領域を超えた場合、古いデータから上書きされます。
- ・ 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- ・ イベント録画（手動による撮影も含む）中は、タッチパネルの操作を受け付けません。
- ・ 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- ・ 事故などが発生した場合、録画ファイルが上書きされないよう、本機から microSD カードを取り出して保管してください。
- ・ スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源コードがはずれてしまっても録画映像を正常に保存します。蓄電状況によっては、正常に保存されない場合があります。
- ・ 別体カメラを接続していない場合でも映像（黒）として記録されます。

クイック録画機能（手動）

手動でイベント録画するための機能です。

☑ Check

- ・「設定メニュー」の「アイコン表示」を「オン」にしてください。[➡ P61]
- ・画面表示がオフ時は動作しません。
- ・録画映像は、クイック録画を開始した 5 秒前と 20 秒後を含み録画します。（10fps 設定時と同じ）
- ・この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。
- ・画面表示が「オン 時計」、「オン 速度」、「オフ」の場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。
- ・画面表示が「オン セーフティレーダー」の場合、【クイック録画】ボタンは表示されません。
- ・タイムラプス録画中は、クイック録画はできません。

1. 本機の動作中に画面左上の【●REC】または【クイック録画】ボタンをタップする。



【クイック録画】ボタン

- * 効果音（♪ピロリロリン*速い）とボイスアシスト（クイック録画を開始します）を出力し、クイック録画が開始されます。クイック録画中、動作 LED が速い緑色点滅（0.5 秒点灯と 0.5 秒消灯を繰り返す）します。クイック録画終了後、常時録画モードにもどります。



■ フレームレートの設定

本機の通常時録画とパーキングモード録画のフレームレート（1秒間に記録される映像数「フレーム」）を設定できます。

☑ Check

- 10fps 設定時は、タイムラプス機能が使用できません。

フレームレートの設定項目

30fps	工場出荷時のフレームレートです。 1秒間に約30枚の映像、1ファイルに1分間の録画をおこないます。
10fps	長時間録画用のフレームレートです。 1秒間に約10枚の映像、1ファイルに3分間の録画をおこないます。

- フレームレートは「設定メニュー」で設定します。[➡ P63]
- フレームレートの設定内容は、画面上のアイコンで表示されます。[➡ P42]



【フレームレート】の状態

■ パーキングモードについて

車のパワー（イグニッション）スイッチを OFF にし、アクセサリ電源が OFF になってから約 6 秒後に録画を開始する機能です。

☑ Check

- パーキングモードをご利用するには、オプションの常時電源コードが必要です。
- パーキングモードを設定する際は、SD カードのフォーマットが必要です。フォーマットの前に必ず録画データのバックアップをとることを推奨します。

本機に適合したオプションの常時電源コードを接続し、「設定メニュー」の「パーキングモード」を「オン」にすると、タイマー機能、電圧監視機能により、最大 12 時間本機に電源を供給します。パーキングモード録画トリガは、常時、モーション、常時+イベント、モーション+イベントから選択できます。

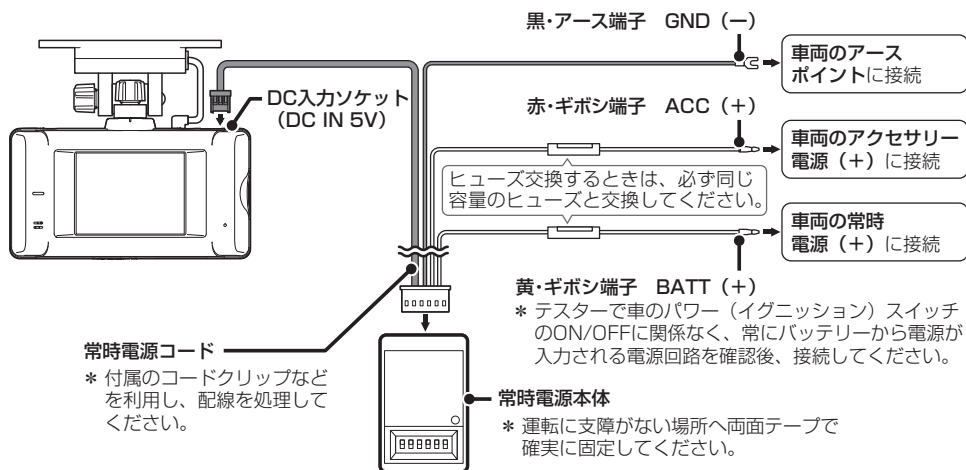
パーキングモードが開始されると画面が消え、動作 LED が遅く点滅します。車のパワー（イグニッション）スイッチを ON にし、アクセサリ電源が ON になると、約 6 秒後にパーキングモードが解除され、通常時録画になります。

⚠ 警告

- パーキングモードを設定する場合は、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線 DC コードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- パーキングモードを「オン 録画領域 (大/小)」に設定すると、SD カードのフォーマットが発生し、パーキングモードの録画領域が作成されます。また、通常時録画の録画領域の比率が変動しますのでご注意ください。
- パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。お客様自身にて、定期的なバッテリー点検をおすすめいたします。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- 「設定メニュー」の「パーキングモード」を「オフ」に設定しても電源が供給されます。完全に電源の供給を OFF にするには、常時電源本体のディップスイッチにて時間設定を「0 時間」に切りかえてください。[➡ P52]
- パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- 本機に適合した常時電源コード以外は使用できません。
- 車両がスリープモード時に電圧降下しない電源に配線してください。
- タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。

オプションの常時電源コードを接続する

12V 車または 24V 車からの電源を DC5V に変換し、本機に通常時とパーキングモード時の電源を入力します。



☑ Check

- オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定のうえ、アクセサリ電源が OFF のときに接続してください。
- 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DC コードを抜いた場合、パワー (イグニッション) スイッチを OFF にし、動作 LED 消灯を確認後、パワー (イグニッション) スイッチを入れなおしてください。
- 常時電源コードをドライブレコーダー本体から無理やり取り外すとコードが断線してしまう可能性があります。常時電源コードを取り外す際は、コネクタにあるツメを押しながら取り外してください。

パーキングモードの録画仕様について

パーキングモード録画と通常時録画を異なる画像設定に変更することが可能です。

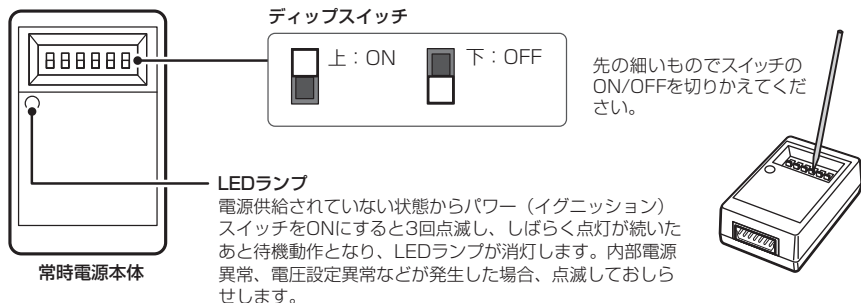
[➡ P66]

☑ Check

- 別体カメラを認識していない場合 (カメラ接続コードがはずれたなど)、本体カメラだけで録画されます。[➡ P43]

常時電源コードの設定

オプションの常時電源コードは、常時電源本体のディップスイッチにて設定します。



■ パーキングモードの時間設定

【スイッチ 1～3】 タイマー機能によって電源供給する時間を設定します。設定時間を超えると電源供給が OFF になります。本機の設定の「パーキングモードタイマー」は、常時電源コード本体の時間設定以下にする必要があります。また、設定時間内は電源供給されます。



■ 12V 車の電圧設定

【スイッチ 4】 12V 車の電圧を設定します。



【スイッチ 5、6】 電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給が OFF になります。



■ 24V 車の電圧設定

【スイッチ 4】 24V 車の電圧を設定します。



【スイッチ 5、6】 電圧監視機能によって監視する電圧を設定します。設定した電圧を下回ると電源供給が OFF になります。

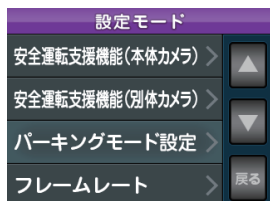


パーキングモードの設定

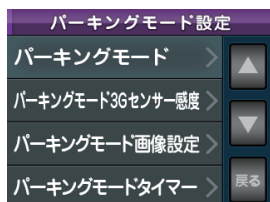
☑ Check

- ・ 常時電源コード接続時、設定できます。

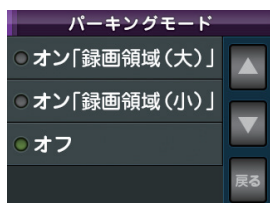
1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択 (タップ) する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【パーキングモード設定】を選択 (タップ) する。



4. 【パーキングモード】を選択 (タップ) する。



5. パーキングモードの設定を選択 (タップ) する。



- * 設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替え画面までもどり、【録画モード】をタップします。
- * SD カードの録画領域設定のため、フォーマットが実行されます。

■ パーキングモードの設定項目（パーキングモード設定>パーキングモード [➡ P65]）

オン「録画領域（大）」	SD カード内のパーキングモードの録画領域を大きく設定し、パーキングモードを長時間録画します。
オン「録画領域（小）」	SD カード内のパーキングモードの録画領域を小さく設定し、通常時録画を長時間録画します。
オフ	パーキングモード機能をオフにします。パーキングモードの録画領域は 0 になります。

- SD カードの録画領域について [➡ P94]

パーキングモード録画のオン / オフ切りかえ

録画の必要がない自宅ではオフ、外出先ではオンというように【パーキングモード】ボタンのタップで簡単にパーキングモード録画のオン、オフが切りかえられます。



【パーキングモード】ボタン



パーキングモード切りかえを音声でお知らせします。
「パーキングモード オン」「パーキングモード オフ」

☑Check.....

- 【パーキングモード】ボタンでオフにしても、パーキングモードの録画領域は変わりません。

■ パーキングモードのお知らせ設定項目 (パーキングモード設定>パーキングモードお知らせ [➡ P65])

「設定メニュー」の「パーキングモードお知らせ」を「オン」にすると、電源 ON 時に現在のパーキングモードの状態を音声でお知らせします。

オン	起動時にパーキングモードがオンになっていることをお知らせします。
オフ	起動時にパーキングモードお知らせをおこないません。

☑ Check

- パーキングモードタイマー設定が 0 時間のときもパーキングモード オンでお知らせします。

パーキングモード録画トリガの種類

以下のパーキングモード録画トリガの設定内容により、パーキングモード録画をおこないます。

常時	常時録画を記録しつづけます。
常時+イベント	常時録画の記録とイベント (衝撃) が発生した場合、イベント前 5 秒+後 20 秒の映像を記録します。
モーション+イベント	カメラがモーション (動作) を検知またはイベント (衝撃) が発生した場合、映像を記録します。

■ microSD カードの保存先とファイル名について

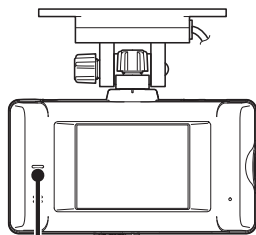
パーキングモード録画トリガ	保存フォルダ名	ファイル名
常時録画	[P_INFINITE]	30fps : PN3_****.avi
	└ [1] 本体カメラ └ [2] 別体カメラ	10fps : PN1_****.avi
イベント録画	[P_EVENT]	30fps : PE3_****.avi
	└ [1] 本体カメラ └ [2] 別体カメラ	10fps : PE1_****.avi
モーション録画	[P_MOTION]	30fps : PM3_****.avi
	└ [1] 本体カメラ └ [2] 別体カメラ	10fps : PM1_****.avi

☑ Check

- パーキングモード録画の SD カード最大保存容量は、パーキングモードのオン、録画領域 (大または小) 設定により変動します。[➡ P53]、[➡ P94]
- ファイル名 (****) に年月日時-時分秒-インデックス (識別)_カメラ番号 (1:本体カメラ /2:別体カメラ) が入ります。
(例: 230501-162810-000001_1 は、2023年5月1日16時28分10秒、本体カメラ)
- 録画ファイルをロックした場合、ファイルは上書きされなくなります。[➡ P68]

パーキングモード録画の動作

車のパワー（イグニッション）スイッチを OFF にし、アクセサリ電源が OFF になってから 6 秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態を動作 LED で表示します。



動作 LED ランプ

常時録画の動作	遅い緑色点滅 (2 秒点灯と 2 秒消灯を繰り返す)
イベント録画の動作	速い緑色点滅 (0.5 秒点灯と 0.5 秒消灯を繰り返す)
モーション録画の動作	検知：遅い緑色点滅 (2 秒点灯と 2 秒消灯を繰り返す) 待機中：遅い 2 回緑色点滅 (2 秒間に点灯と消灯を 2 回おこなった後 2 秒消灯を繰り返す)



「パーキングモード」のアイコン

パワー（イグニッション）スイッチを ON にし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンが変化します。



次回起動時、アイコンは **P** にもどります。[➡ P42]

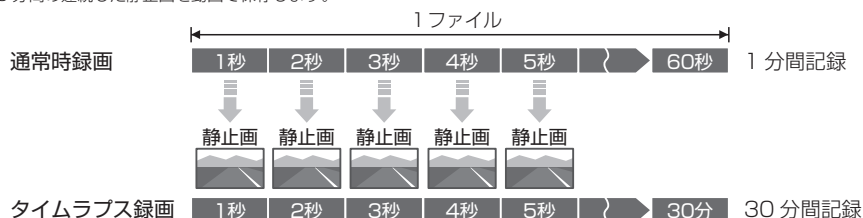
■ タイムラプス録画機能

1 秒間に 1 枚の連続した静止画を映像データとして録画する機能です。

☑ Check

- 位置情報とインポーズ記録をオンに設定している場合、録画画像に位置情報などを重ねて録画します。

30 分間の連続した静止画を動画で保存します。



⚠ 注意

- タイムラプス録画機能は、フレームレート：30fps 設定時、使用できます。
- タイムラプスの録画中は、クイック録画、イベント録画、モーション録画はおこなわれません。
- タイムラプスの録画ファイルには音声、3G センサー情報、位置情報のデータは記録されません。

■ タイムラプス録画の保存先とファイル名について

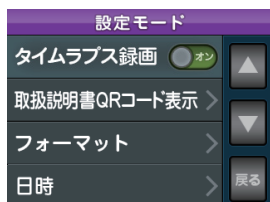
録画トリガ	保存フォルダ名	ファイル名
常時録画	[N_INFINITE] └ [1] 本体カメラ └ [2] 別体カメラ	NT3_****.avi
パーキングモード録画	[P_INFINITE] └ [1] 本体カメラ └ [2] 別体カメラ	PT3_****.avi

☑ Check

- ファイル名 (****) に年月日時 - 時分秒 - インデックス (識別)_ カメラ番号 (1: 本体カメラ / 2: 別体カメラ) が入ります。
(例: 230501-162810-000001_1 は、2023年5月1日16時28分10秒、本体カメラ)
- 録画ファイルをロックした場合、ファイルは上書きされなくなります。[➡ P68]
- SD カードの最大保存容量は、パーキングモードのオン、録画領域 (大または小) 設定により変動します。[➡ P53]、[➡ P94]

タイムラプス録画の設定

1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択（タップ）する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【タイムラプス録画】を選択（タップ）して、オンにする。



タイムラプス録画の確認画面が表示されます。

4. 【実行】をタップする。
* 設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替え画面までもどり、【録画モード】をタップします。

タイムラプスアイコン



黄色：タイムラプス録画

■ タイムラプス録画の設定項目（タイムラプス録画 [→ P63]）

オン	<p>通常時録画とパーキングモード録画の映像をタイムラプスで録画します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フレームレートを 30fps 設定時、タイムラプス録画をオンに設定できます。 ・ 通常時録画とパーキングモード録画の保存先は、それぞれ異なります。 ・ クイック録画、イベント録画、モーション録画はおこなわれません。 ・ 【クイック録画】ボタンは表示されません。
オフ	タイムラプス録画機能をオフにします。

各種設定の変更

■ 設定の変更方法

本機の設定を変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで設定することも可能です。詳しくは、ダウンロードした専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

☑ Check

- ・ 設定中は、録画はできません。
- ・ 「設定メニュー」画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。

1. 画面中央下の【MENU】をタップする。

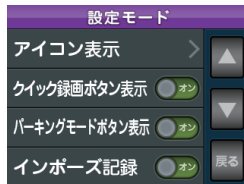
- * アイコン表示オフは、画面をタップするとモード切替え画面に切りかえます。



2. 【設定モード】を選択（タップ）する。

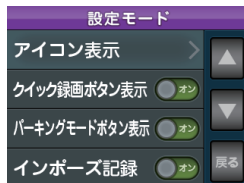


3. 画面右の【▲▼】をタップして、変更する設定メニューを選ぶ。



4. 変更したい設定項目を選択（タップ）し、設定内容を切りかえる。

- * 設定項目が多い場合は、画面右の【▲▼】をタップし、スクロールさせます。



5. 設定したい項目を選択（タップ）する。

- * 例：アイコン表示の場合



6. 引き続き他の設定を変更する場合は、画面右の【戻る】をタップして設定モード画面までもどり、同様の手順でおこなう。

7. 設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替え画面までもどり、【録画モード】をタップする。

■ 設定一覧

- * 1 別体カメラ接続時、設定できます。
- * 2 タイムラプス録画オフ時、設定できます。
- * 3 常時電源コード接続し、パーキングモードオン時、設定できます。
- * 4 常時電源コード接続時、設定できます。
- * 5 フレームレート：30fps 時、設定できます。

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
音量調整	2	本機の音量を調整できます。数値を大きく設定すると音量が大きくなり、0 は無音にします。 3/2/1/0	—
通常時画像設定	高画質	通常時録画の画像、画質を設定します。お好みの録画の記録時間、画質を設定できます。 高画質： 通常時の録画画質を高画質 (FHD) に適した設定にします。 標準： 通常時の録画画質を標準的 (HD) な設定にします。 長時間： 通常時の録画画質を長時間録画 (D1) に適した設定にします。 カスタム： 通常時の録画画質などの設定をお好みで設定できます。	P64 P91
本体カメラ設定	HDR ナイトクリア 1	本体カメラ、別体カメラの画像補正を設定できます。 ノーマル： HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 HDR： HDR による画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 ナイトクリア： STARVIS により、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDR による画像補正をおこないません。	—
別体カメラ設定* 1	HDR ナイトクリア 1	HDR ナイトクリア 1： HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないません。 ナイトクリアによる光量の効果は (小) です。 HDR ナイトクリア 2： HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないません。 ナイトクリアによる光量の効果は (中) です。 HDR ナイトクリア 3： HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないません。 ナイトクリアによる光量の効果は (大) です。	—
別体カメラ表示* 1	オン	本機の画面に表示するカメラの映像、パターンを設定できます。 オン： 本体カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。 オン 優先： 別体カメラをメイン、本体カメラを小窓で表示します。 オフ： 別体カメラを非表示にします。 メイン： 別体カメラをメインで表示します。	P41
音声録音	オン	本機のマイクで音声を録音し、録画映像に記録するか設定できます。 オン： 本体のマイクで音声を録音します。 オフ： 本体のマイクで音声を録音しません。	—

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
3G センサー感度* ²	6	数値を大きく設定すると 3G センサーが高感度になり、通常時の衝撃を感知しやすくなります。カスタムは、3G センサーをお好みで設定できます。 10/9/8/7/6/5/4/3/2/1/ カスタム	P64
通常時録画トリガ* ²	常時+イベント	通常時録画の録画方法を設定できます。 常時： 通常時録画は、常時のみで録画をおこないます。 常時+イベント： 通常時録画は、常時+イベントで録画をおこないます。	P46
画面明るさ	3	画面の明るさを設定できます。数値を大きくすると明るくなります。 4/3/2/1	—
ディマー	オン	時間で画面の明るさを自動調整するか設定できます。「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は16:00～7:00に画面を自動で暗くします。 オン： ディマー機能を設定します。 オフ： ディマー機能を設定しません。	—
ボイス	オン	本機の動作をボイスアシスト (音声案内) するか設定できます。 オン： ボイスアシストをおこないます。 オフ： ボイスアシストをおこないません。	—
画面表示	オン	本機の画面に表示する内容を設定できます。 オン ノーマル： カメラ映像を表示します。 オン セーフティレダー： セーフティレダー画面を表示します。 オン 時計：時計を表示します。 オン 速度：速度を表示します。 オフ： 画面表示しません。 オフ 画面、LED、ボイス： 画面、LED、ボイスをオフにします。* エラー表示は実行。	P42 P44 P45
アイコン表示	オン 小	本機の画面に表示されるアイコンのサイズを設定できます。 オン 小： 小さいアイコンで表示します。 オン 大： 大きいアイコンで表示します。 オフ： アイコンを非表示にします。	P41
クイック録画ボタン表示* ²	オン	本機の画面にクイック録画を実行できるボタンを表示するか設定できます。 オン： 【クイック録画】 ボタンを表示します。 オフ： 【クイック録画】 ボタンを表示しません。	P48
パーキングモードボタン表示* ³	オン	本機の画面にパーキングモードをオン/オフできるボタンを表示するか設定できます。 オン： パーキングモードボタンを表示します。 オフ： パーキングモードボタンを表示しません。	P54

各種設定の変更（つづき）

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
インポーズ記録	オン	録画した映像に各種情報を重ねて（インポーズ）記録するか設定できます。 オン： 映像に日時、現在地の緯度経度、走行速度をインポーズします。 オフ： 映像に日時、現在地の緯度経度、走行速度をインポーズしません。	—
位置情報取得	オン	本機の GPS 機能で位置情報を取得するか設定できます。 オン： 位置情報を取得し記録、表示します。 オフ： 位置情報を取得しません。	P82
SD カード消耗おしらせ	オン半年（183日）	SD カードの交換時期のおしらせを設定できます。 オン半年（183日）： 半年（183日）ごとに SD カードの交換時期をおしらせします。 オン1年（365日）： 1年（365日）ごとに SD カードの交換時期をおしらせします。 オン2年（730日）： 2年（730日）ごとに SD カードの交換時期をおしらせします。 オン3年（1095日）： 3年（1095日）ごとに SD カードの交換時期をおしらせします。 オフ： SD カードの交換時期をおしらせしません。 リセット： SD カードの交換時期をリセットします。すでに交換時期を設定済みの場合は、経過日数が消去されます。 経過日数： SD カードの交換時期の経過日数を表示します。	—
GPS おしらせ機能	小学校、中学校以外 オン	GPS おしらせ機能を設定できます。 取締機： オービスなど速度取締機の設置ポイントをおしらせします。 新型取締機設置ポイント： 新型速度取締機の設置ポイントをおしらせします。 高速道逆走注意エリア： 高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをおしらせします。 ゾーン30： 制限速度30キロ区域（ゾーン30）をおしらせします。 事故多発エリア： 事故発生率の高いエリアをおしらせします。 事故多発路線： 事故発生率の高い路線をおしらせします。 小学校： 小学校付近でおしらせします。 中学校： 中学校付近でおしらせします。	P74
	—	データ情報： GPS データの版数を確認します。	
安全運転支援機能（本体カメラ）	—	安全運転支援機能（本体カメラ）の設定画面に移動します。	P69

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
安全運転支援機能 (別体カメラ) * 1	—	安全運転支援機能 (別体カメラ) の設定画面に移動します。	P72
レーダー、 レーザー機能	—	レーダーおよびレーザーの受信の設定画面に移動します。	P64
パーキングモード 設定 * 4	—	パーキングモード設定の設定画面に移動します。	P65
フレームレート * 5	30fps	録画のフレームレートを設定できます。 30fps: 通常時とパーキングモード時を 30fps で録画します。 10fps: 通常時とパーキングモード時を 10fps で録画します。	P46 P49
タイムラプス録画 * 5	オフ	タイムラプス機能で録画するか設定できます。 オン: 通常時とパーキングモード時をタイムラプスで録画します。 オフ: タイムラプス録画をおこないません。	P57
取扱説明書 QR コード表示	—	スマートフォンで取扱説明書を表示するための QR コードを表示します。	P83
フォーマット	—	SD カードのフォーマットをおこないます。	P84
日時	—	本機内蔵の時刻を表示します。 GPS 端子を接続している場合は、GPS から日時を取得するため、設定できません。	P85
キャリブレーション 設定	—	タッチパネルを補正します。	P87

通常時画像設定「カスタム」時、設定内容一覧

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
画像	D1	FHD : 1920 × 1080 ピクセル HD : 1280 × 720 ピクセル D1 : 720 × 480 ピクセル	—
画質	低	高 標準 低	—
明るさ	中	明 中 暗	—
コントラスト	中	高 中 低	—

3G センサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
前後	6	数値を大きく設定すると 3G センサーが高感度になり、通常時の衝撃を感知しやすくなります。オフは衝撃を検知しません。 10/9/8/7/6/5/4/3/2/1/ オフ	—
左右			—
上下			—

レーダー、レーザー機能、設定内容一覧

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
レーダー受信	オート	レーダー受信感度を設定します。 オート/高/中/低/オフ	P78
レーダー キャンセル速度	30 キロ	指定した速度以下の場合、レーダー受信をキャンセルします。 30 キロ/ 40 キロ/ 50 キロ/ 60 キロ/ オフ	P78
レーザー受信	オン	レーザー受信感度を設定します。 オート/オン/オフ	P78

パーキングモード設定の設定内容一覧

- * 1 パーキングモードをオン「録画領域 (大) / (小)」時、設定できます。
 * 2 タイムラプス録画オフ時、設定できます。

設定メニュー	初期設定	設定項目	参照
パーキングモード	オフ	パーキングモードを使用するか設定できます。オンにした場合、SD カードにパーキング録画領域を作成するため、設定後フォーマット動作となります。 オン「録画領域 (大)」: 領域設定 (パーキングモード録画の領域を大きくする) オン「録画領域 (小)」: 領域設定 (パーキングモード録画の領域を小さくする) オフ: (パーキングモード録画の領域を 0% にする)	P53
パーキングモード録画トリガ*1*2	常時+イベント	パーキングモード録画の録画方法を設定できます。 常時: パーキングモード時、常時のみで録画をおこないます。 常時+イベント: パーキングモード時、常時+イベント録画をおこないます。 モーション+イベント: パーキングモード時、モーション+イベント録画をおこないます。	P55
パーキングモード3Gセンサー感度*1*2	6	数値を大きく設定すると 3G センサーが高感度になり、パーキングモード時の衝撃を感知しやすくなります。 10/9/8/7/6/5/4/3/2/1	—
パーキングモード画像設定*1	長時間	パーキングモード時録画の画像、画質を設定します。お好みの録画の記録時間、画質を設定できます。 高画質: 録画画質を高画質 (FHD) に適した設定にします。 標準: 録画画質を標準的 (HD) な設定にします。 長時間: 録画画質を長時間録画 (D1) に適した設定にします。	P92
パーキングモードタイマー*1	12 時間	パーキングモードのタイマーがオフになる時間を設定します。 0 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 8 時間 / 10 時間 / 12 時間 常時電源本体 (ディップスイッチ) で設定した時間以下にしてください。	P52
パーキングモードおしらせ*1	オフ	起動時に現在のパーキングモードのオン / オフをお知らせするか設定できます。 オン: パーキングモードがオンになっていることをお知らせします。 オフ: パーキングモードおしらせをおこないません。	P55

■ 通常時画像設定 / パーキングモード画像設定

通常時画像設定、パーキングモード画像設定は、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。録画したい画像、録画時間などお好みにあわせて変更することができます。

⚠ 注意

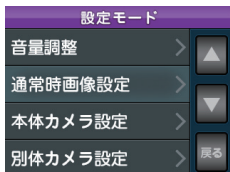
- 通常時画像設定またはパーキングモード画像設定を変更すると microSD カードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどがすべて消去されます。
- あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルなどのバックアップをおこなうことをおすすめします。

✓ Check

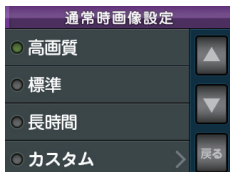
- 設定中は、録画できません。

■ 通常時画像設定の例

1. 画面中央下の **【MENU】** をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. **【設定モード】** を選択（タップ）する。
3. 画面右の **【▲▼】** をタップして、**【通常時画像設定】** を選択（タップ）する。

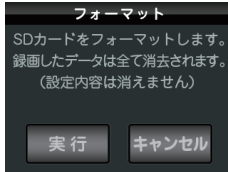


4. 設定したい通常時画像設定を選択（タップ）する。

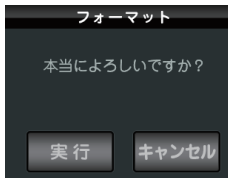


5. **【戻る】** をタップして設定を確認する。

* 画像設定を変更すると microSD カード内の録画ファイルなどが消去されます。画像設定を実行する前に録画ファイルのバックアップをおこなっているかを確認してください。

6. **【実行】** をタップする。

- * **【キャンセル】**：通常時画像設定をキャンセルし、設定モードにもどります。
- * 録画データなどが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。

7. **【実行】** をタップする。

- * **【キャンセル】**：通常時画像設定をキャンセルし、設定モードにもどります。

本機の画面に「フォーマット実行中」と表示されます。



フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

その他の機能

■ 再生モード

録画した映像を本機の画面で再生することができます。

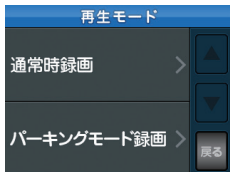
☑ Check

- 再生モード中は、録画できません。
- 外部モニターなどで再生することはできません。

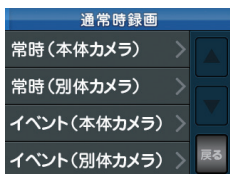
- 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
- 【再生モード】を選択（タップ）する。



- 【通常時録画】または【パーキングモード録画】を選択（タップ）する。

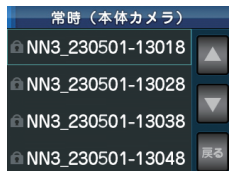


- 録画データの種類、カメラを選択（タップ）する。



「再生ファイル選択」画面に切りかわります。

5. ファイルを選択（タップ）する。



* 再生ファイルが多い場合は、画面右の【▲▼】をタップし、スクロールさせます。

* 再生ファイル名について【➡ P46】

* ファイルは、録画された時間の順に表示されます。

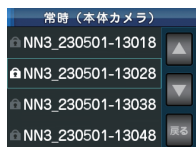
録画映像が再生されます。



操作	操作結果
画面をタップ	一つ前の画面に戻る
画面をロングタップ	本体カメラと別体カメラの映像切りかえ

録画ファイルロック機能

保護したい録画ファイルの名前をロングタップすると、ロック（保護）、解除を切りかえられます。（本体カメラ、別体カメラは連動します）



ロックあり



ロックなし

☑ Check

- SDカード内にロックしたファイルがある場合、フォーマット時に確認画面が表示されます。【➡ P84】

■ 安全運転支援機能（本体カメラ）

本体カメラの安全運転支援機能で前方の運転をサポートします。

- ・ 「キャリブレーション（本体カメラ）」にて、設置する車にあわせて調整してください。
[➡ P70]
- ・ 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- ・ 本体カメラは、できる限り車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- ・ 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- ・ 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 横切る車、ヘッドランプなどの ON/OFF により警告する場合があります。

前車発車警告

停車時、前車が出発したことを警告します。



車間距離保持警告

設定した速度以上で走行時、前車との適正距離を保持するよう警告します。



車線逸脱警告

設定した速度以上で走行時、車線を逸脱すると警告します。



- ・ 安全運転支援機能を使用する前に、キャリブレーションの設定をおこなう必要があります。
[➡ P70]

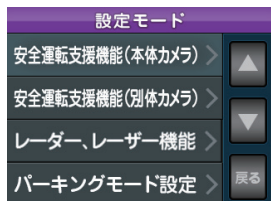
安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧

安全運転支援機能メニュー	設定値	設定項目
前車発車警告	オフ	オン / オフ
車間距離保持警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 車間距離保持警告が動作する走行速度を設定します。
車線逸脱警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 車線逸脱警告が動作する走行速度を設定します。
キャリブレーション		画面で調整します。[⇒ P70]
警告音	オン	オン / オフ

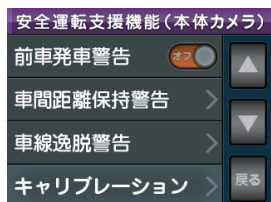
キャリブレーション（本体カメラ）

安全運転支援機能を使用するために、設置する車にあわせて本体カメラの調整をおこないます。

1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択（タップ）する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【安全運転支援機能（本体カメラ）】を選択（タップ）する。



4. 画面右の【▲▼】をタップして、【キャリブレーション】を選択（タップ）する。



「キャリブレーション」画面に切りかわります。

■ 車種を設定する

1. 「キャリブレーション」画面で【車種】を選択（タップ）する。
2. 一覧から設置する車に近い車種を選択（タップ）する。
 - * 乗用車
 - * SUV
 - * 大型車
3. 【戻る】をタップする。

■ 地平線（前方）を調整する

1. 「キャリブレーション」画面で【地平線】を選択（タップ）する。
2. 画面を見て赤線が道路の先端にくるように画面右の【▲▼】をタップして調整する。



3. 【設定】をタップする。

■ ボンネットを調整する

1. 「キャリブレーション」画面で【ボンネット】を選択（タップ）する。
2. 画面を見て黄線の高さがボンネットの高さと同じになるように画面右の【▲▼】をタップして調整する。



* トラックなどボンネットが見えない車両の場合、線を一番下に設定してください。

3. 【設定】をタップする。

■ 安全運転支援機能（別体カメラ）

別体カメラの安全運転支援機能で後方の運転をサポートします。

- 「キャリブレーション（別体カメラ）」にて、設置する車にあわせて調整してください。
[➡ P73]
- 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- リヤガラスにスモークフィルムを貼っている場合、画像認識しにくいいため機能が動作しないことがあります。
- 別体カメラは、できる限り車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- 走行状況により後方からの接近の判断ができない場合があります。特に夜間、トンネル内などの暗い場所では判定率が下がるため誤判断（誤認）する場合があります。

後車接近警告

後車が接近すると、警告音やイベント録画をおこない、ドライバーに注意を促します。

- 「安全運転支援機能（別体カメラ）」の「警告音」を「オン+イベント録画」に設定すると、後車が接近（煽り運転）時、イベント録画を開始します。



安全運転支援機能（別体カメラ）の設定項目

安全運転支援機能メニュー	設定値	設定項目
後車接近警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 後車接近警告が動作する走行速度を設定します。
キャリブレーション		画面で調整します。[➡ P73]
判定距離	10m	5m/10m
警告音	オン	オン / オフ / オン+イベント録画 • オン+イベント録画はタイムラプス録画が「オン」時、設定できません。

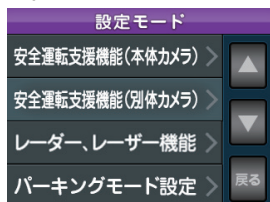
キャリブレーション（別体カメラ）

安全運転支援機能を使用するために、設置する車にあわせて別体カメラの調整をおこないます。

1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択（タップ）する。



3. 画面右の【▲▼】をタップして、【安全運転支援機能（別体カメラ）】を選択（タップ）する。



4. 【キャリブレーション】を選択（タップ）する。
5. 画面を見て緑線が道路の先端にくるように画面右の【▲▼】をタップして地平線を調整する。



* 上下の赤線2本は動きません。

6. 【設定】をタップする。

■ GPS お知らせ機能

内蔵の GPS データにより安全運転に役立つ情報をお知らせします。弊社会員サイトの MyCellstar[➡ P79] で最新の GPS データに更新できます。

- ・ 「設定メニュー」の「GPS お知らせ機能（個別設定）」を「オン」にしてください。
- ・ 本体に GPS 端子を接続し、GPS 衛星を測位できる状態にしてください。
- ・ GPS の測位状態によっては、GPS お知らせ機能が動作しない場合があります。






☑ Check

- ・ ノーマル画面では見出しの色、セーフティレーダー画面では「警告」、「注意」、「情報」で表示します。




警告表示（赤）	注意表示（黄）	情報表示（青）



警告表示

画像	内容
	<p>■ 新Hシステム</p> <p>レーダーと異なる電波を使用します。事前に「速度超過」などを速度警告板に表示し、無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。 設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン
	<p>■ ループコイル</p> <p>複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。 設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン
	<p>■ LH システム</p> <p>複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。 設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン
	<p>■ NH システム</p> <p>走行車両をデジタルカメラで撮影し、その画像のブレから走行速度を算出して違反車両を特定します。 設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン
	<p>■ オービス</p> <p>レーダー（マイクロ波）を車に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。 設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン
	<p>■ レーザー式新型取締機</p> <p>レーザー波によって走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。 設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン



画像	内容
	<p>■ トンネル内速度取締機</p> <p>トンネル内の速度取締機の設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン
	<p>■ トンネル出口速度取締機</p> <p>トンネル出口の速度取締機の設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン
	<p>■ 信号無視監視機</p> <p>信号無視の違反車両を監視します。</p> <p>設置ポイントを 1,000m と 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締機として一括設定となります。個別の設定はできません。 ・ 初期設定はオン

注意表示

画像	内容
	<p>■ 新型取締機設置ポイント</p> <p>主にゾーン 30 エリアに設置されている、または過去に設置された新型取締機設置ポイントを 500m 手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオン ・ 撤去や移動した跡も含まれます。
	<p>■ 高速道逆走注意エリア</p> <p>高速道路上の逆走が発生しやすいエリアの付近をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオン ・ 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。 ・ ポイントによりお知らせする場所が変わります。
	<p>■ ゾーン 30</p> <p>生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度 30 キロに設定された区域（ゾーン 30）の付近でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオン ・ 走行速度 80km/h 以下のときにお知らせします。 ・ 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。 ・ ポイントによりお知らせする場所が変わります。

画像	内容
	<p>■ 事故多発エリア</p> <p>事故発生率の高いエリアを手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオン ・ 走行速度 80km/h 以下のときに一般道に対し、80km/h 以上のときに高速道に対しお知らせします。 ・ 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。
	<p>■ 事故多発路線</p> <p>事故発生率の高い路線を手前でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオン ・ 走行速度 80km/h 以下のときに一般道に対し、80km/h 以上のときに高速道に対しお知らせします。 ・ 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

情報表示

画像	内容
	<p>■ 小学校</p> <p>小学校の付近をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオフ ・ 走行速度 80km/h 以下のときにお知らせします。 ・ 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。
	<p>■ 中学校</p> <p>中学校の付近をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオフ ・ 走行速度 80km/h 以下のときにお知らせします。 ・ 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

■ レーダー、レーザー機能

移動式の速度取締機から発せられるレーダー波やレーザー光を受信し、お知らせします。

- ・ 「設定メニュー」の「レーダー、レーザー機能」を「オート」または「オン」にしてください。
- ・ レーダーおよびレーザーの受信環境によっては、お知らせできない場合があります。

オン ノーマル画面



お知らせする
レーダー、
レーザー警告

オン セーフティレーダー画面



お知らせする
レーダー、
レーザー警告
受信状態

画像と音声でお知らせします。

警告表示

画像	内容
	<p>■ レーザー警告</p> <p>レーザー式オービスからのレーザーを受信レベル（強・弱）2段階でお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオン
	<p>■ レーダー警告</p> <p>レーダーを受信するとお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオート ・ 「レーダーキャンセル速度」設定の速度以下の場合、レーダー受信をキャンセルします。【→ P63】
	<p>■ ステルスアラーム</p> <p>瞬時の強いレーダーをステルス波と識別してお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期設定はオート ・ 「レーダーキャンセル速度」設定の速度以下の場合、レーダー受信をキャンセルします。【→ P63】

■ MyCellstar について

「MyCellstar」のサイトから無料で GPS データのダウンロードをおこない、最新の GPS データに更新ができます。

詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■ 用意するもの

- ・ 付属の microSD カード

☑ Check

- ・ GPS データ更新中に microSD カード内の録画データなどが消去するおそれがあります。事前にパソコンなどへ録画データをバックアップしてください。

パソコンで GPS データをダウンロード

1. ブラウザで MyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開き、[MyCellstar を利用する] をクリックする。



2. リストから RD-60 を選択し、【保存】をクリックする。



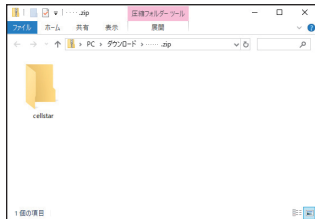
3. GPS データにチェックを付け、【次へ】ボタンをクリックする。



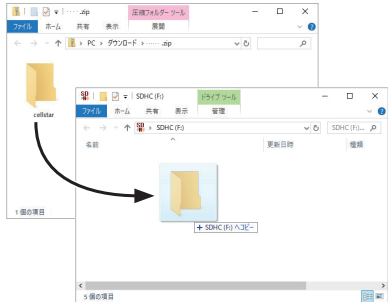
4. 【ダウンロード】ボタンをクリックする。



5. ダウンロードされた GPS データ (ZIP データ) を開く。



6. GPS データ内の「cellstar」フォルダごとと付属の microSD カードにコピーする。
GPS データ内



microSD カードのルートディレクトリ (一番上の階層)

最新の GPS データが入った microSD カードができてあります。

スマートフォンで GPS データをダウンロード

■ スマートフォンの推奨環境

OS : Android5.0 以降

☑ Check

- iOS、Android4.4 には対応していません。
- Android5.0 以降、SD カードの書き込み権限の設定が必要です。
- Android12 以降は、スマートフォンの規格に合った市販の SD カードリーダーを使用してデータを転送してください。
- スマートフォンは、メモリー状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

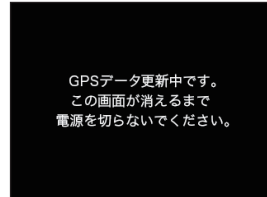
1. Play ストアから「MyCellstar + Sync」をダウンロードしてインストールする。
 - * スマートフォンアプリの使い方、機能の説明はアプリ内のヘルプを参照してください。
 - * スマートフォンで更新する場合、本機でフォーマットした市販の microSD カードを使用してください。

■ GPS データ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新の GPS データが入った付属の microSD カードを用意します。

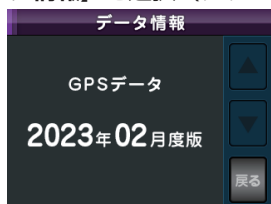
[→ P79]

1. 本体から DC コードをはずし、電源が OFF になっていることを確認する。
2. 最新の GPS データが入った付属の microSD カードを microSD カードスロットに挿入する。
[→ P36]
3. 本体に DC コードを接続し、電源を ON にする。
 - * 自動的に GPS データが更新され、本機が再起動します。



■ GPS データの版数確認

1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択（タップ）する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【GPS おしらせ機能】を選択（タップ）する。
4. 画面右の【▲▼】をタップして、【データ情報】を選択（タップ）する。



* 内蔵の GPS データの版数が表示されます。

■ GPS の測位について

GPS を利用した機能を使用するために、GPS の測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的に GPS 測位がはじまります。GPS を測位すると測位アナウンスをおこない、GPS アイコンが表示されます。
[→ P41]

☑Check
お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

- GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。GPS 測位に 20 分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどでは GPS を測位しにくくなる場合があります。
- GPS 機能を使用するには、GPS 測位中に限られます。

超速 GPS について

自転車位置を約 10 秒で素早く GPS を測位するので、ドライブをスムーズにスタートできます。

☑Check
.....

- GPS 衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回の GPS 受信から 72 時間を経過すると超速 GPS は機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。

■ 撮影モードについて

手動で静止画を撮影するモードです。撮影した画像は、microSD カードの [CAPTURE] フォルダに保存されます。

☑ Check

- 静止画が microSD カード総容量の 2% まで保存できます。最大容量を超えた場合、古いデータから上書きされます。
- 撮影された静止画 (JPG ファイル) は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンから microSD カードを参照してください。
- 画面表示が「オン 時計」、「オン 速度」、「オフ」の場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【撮影モード】を選択 (タップ) する。



3. カメラアイコンをタップする。



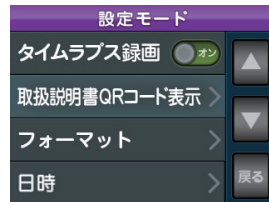
静止画が JPEG 形式で撮影されます。

- * カメラアイコン以外をタップすると撮影モードが終了します。

■ 取扱説明書 QR コード表示

取扱説明書 (本書) の PDF をダウンロードする QR コードを表示できます。表示には、PDF を表示するビューアが必要になります。

1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択 (タップ) する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【取扱説明書 QR コード表示】を選択 (タップ) する。



本機の画面に QR コードが表示されます。



4. QR コードをスマートフォンで読みとり、取扱説明書の PDF を表示させます。

- * QR コードの表示を終了して録画モードにもどる場合は、画面右の【戻る】をタップしてモード切替え画面までもどり、【録画モード】をタップします。

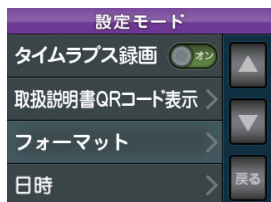
■ フォーマット

microSD カードを初期化し、microSD メンテナンスフリー機能により、セルスター独自のファイルシステムが適応されます。

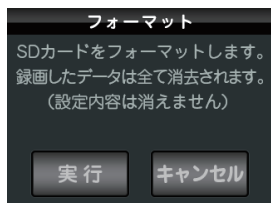
☑ Check

- microSD カード内の録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。
- 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時にもどりません。

- 画面中央下の **【MENU】** をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
- 【設定モード】** を選択（タップ）する。
- 画面右の **【▲▼】** をタップして、**【フォーマット】** を選択（タップ）する。

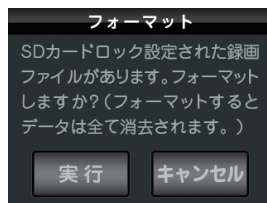


- 【実行】** をタップする。

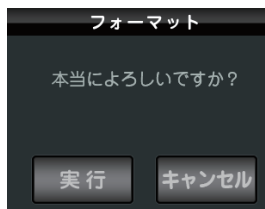


- * **【キャンセル】**：「設定モード」画面にもどる

- * SD カード内にロックした録画ファイルがある場合、確認画面が表示されます。[→ P68]



- 【実行】** をタップする。



- * **【キャンセル】**：「フォーマット」画面にもどる
本機の画面に「フォーマット実行中」と表示されます。



- フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

■ 日時

GPS 端子を接続していない場合は、本機内蔵時計の時刻を表示します。

本機内蔵の時計は「設定メニュー」から設定できます。

☑ Check

- GPS 端子が接続されている場合は、GPS により日時を取得するため設定できません。

1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択（タップ）する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【日時】を選択（タップ）する。



4. 画面右の【▲▼】をタップして「西暦」をあわせて【設定】を選択（タップ）する。



「西暦」が設定されて、カーソルが「月」に移動します。

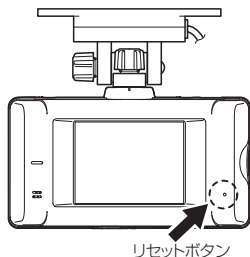
5. 画面右の【▲▼】をタップして「月」をあわせて【設定】を選択（タップ）する。
「月」が設定されて、カーソルが「日」に移動します。
6. 画面右の【▲▼】をタップして「日」をあわせて【設定】を選択（タップ）する。
「日」が設定されて、カーソルが「時」に移動します。
7. 画面右の【▲▼】をタップして「時」をあわせて【設定】を選択（タップ）する。
「時」が設定されて、カーソルが「分」に移動します。
8. 画面右の【▲▼】をタップして「分」をあわせて【設定】を選択（タップ）する。
本機内蔵時計の時刻が設定され、設定モード画面に戻ります。

■ システムリセットと強制初期化（強制フォーマット）

本機が誤作動をおこしたり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化（強制フォーマット）をおこなってください。

システムリセット

1. ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
* リセットボタンを強く押しすぎないように注意してください。



本機がリセットされます。

強制初期化（強制フォーマット）

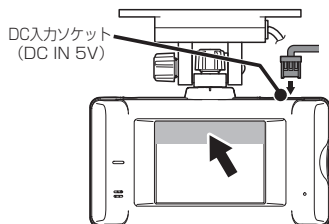
強制初期化をおこなうと、本体の設定値が工場出荷時にもどります。必要に応じて再設定をおこなってください。

[⇒ P60 ~ P65]

☑ Check

- microSD カード内の録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

1. DC コードのプラグを抜き、電源を OFF にする。
2. 画面の上部をタップしながら DC コードのプラグを接続し、電源を入れる。

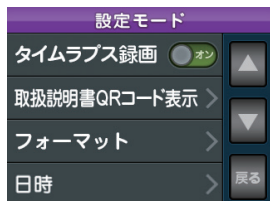


しばらくするとフォーマット動作に切りかわり、フォーマットが実行されます。

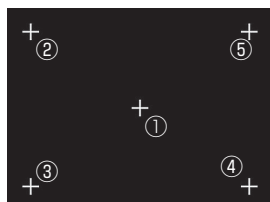
■ タッチパネルのキャリブレーション設定

タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。

1. 画面中央下の【MENU】をタップして、モード切替え画面に切りかえる。
2. 【設定モード】を選択（タップ）する。
3. 画面右の【▲▼】をタップして、【キャリブレーション設定】を選択（タップ）する。



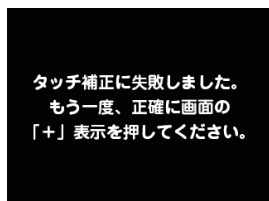
4. ①～⑤まで順番で十字（+）表示の真ん中をタップする。



☑ Check

タッチパネルの補正に失敗した場合

- 本機の画面に以下のエラーが表示されます。



再度、キャリブレーション設定をおこなってください。

■ ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからダウンロードします。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Intel® Core™ i5 / i7
(Haswell 第4世代以上、Quad-Core DesktopCPU 2.5GHz)
AMD Ryzen™ 以上 (Quad-Core DesktopCPU 2.5GHz 以上)
* モバイル、低電力CPUは除外
- GPU： Intel® HD Graphics 4500 以上
AMD Radeon™ 第9世代 (HD6350) 以上
NVIDIA® GeForce™ 400 series (GT430) 以上
- メモリ： 8GB 以上 / 16GB 推奨
- HDD： 4GB 以上
- 解像度： 1024 × 864 ドット以上
- OS： Windows 10/11
- その他： DirectX 9.0 以上 / 11 推奨

☑ Check

- 専用ビューアは、OSのアップデート、ハードウェア要件、インストールされているソフトウェアなどさまざまな要因により、推奨環境下でも正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

専用ビューアソフトのインストール方法

- viewer.zip をダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
- viewer フォルダを開く。
- フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
- setup.exe を起動する。
インストールが開始されます。
* 専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">DC コードのヒューズが切れていませんか。本機は専用の DC コード（3 極コネクタ 5V/2A）を使用してください。	P32
SD カードを認識しない	<ul style="list-style-type: none">microSD カードは正しく挿入されていますか。 ⇒ microSD カードを挿入していないと録画が開始されません。	P36
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none">microSD カードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。	P11
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none">microSD カードは正しく挿入されていますか。 ⇒ microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。	P11 P36 P37
	<ul style="list-style-type: none">microSD カード内の録画ファイルが破損した可能性があります。 ⇒ microSD カードをフォーマットしてください。	P84
タイムラプス録画の設定がオンにできない	<ul style="list-style-type: none">フレームレートが 10fps に設定されていませんか？タイムラプス録画をオンにするには、フレームレートを 30fps に設定してください。	P63
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。またはすぐに反応してしまふ	<ul style="list-style-type: none">「3G センサー感度」を調整してください。 ⇒ 使用状況にあわせて、この設定を調整することをおすすめします。	P61
ひんぱんにイベント録画される。または録画されない	<ul style="list-style-type: none">「3G センサー感度」を調整してください。 ⇒ * 使用状況にあわせて、この設定を調整することをおすすめします。	P61
画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none">画面がオフになっていませんか。	P45
再起動する	<ul style="list-style-type: none">本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none">日時、車両の走行速度、位置情報は、GPS の測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。	—
パーキングモードを設定できない	<ul style="list-style-type: none">本機が常時電源コードを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。	—
設定中に、フォーマット動作になった	<ul style="list-style-type: none">通常時画像設定またはパーキングモードの設定を変更されていませんか。変更した場合、microSD カードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、録画ファイルなどが消去されます。バックアップされていない場合、本体から DC コードをはずして電源が OFF になっていることを確認し、microSD カードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。	P37
設定が初期値にもどる	<ul style="list-style-type: none">本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。新しい microSD カードに交換していませんか。 ⇒ microSD カード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値にもどります。再設定をおこなってください。	P35

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

製品の仕様

本体カメラ	撮像素子	200万画素 カラーCMOS センサー	
	フレームレート	30fps / 10fps *タイムラプス録画は1秒に1フレーム	
	視野角	水平 123°、垂直 64°、対角 150°	
	F 値	2	
	最低被写体照度	3LUX	
	録画画素数	200万画素 (FullHD) / 100万画像 (HD) / 35万画素 (D1)	
	録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	録画画角	FullHD	水平 123°、垂直 64°、対角 150°
HD		水平 123°、垂直 64°、対角 150°	
D1		水平 99°、垂直 64°、対角 124°	
別体カメラ	撮像素子	200万画素 カラーCMOS センサー	
	フレームレート	30fps / 10fps *タイムラプス録画は1秒に1フレーム	
	視野角	水平 117°、垂直 62°、対角 141°	
	F 値	2	
	最低被写体照度	3LUX	
	録画画素数	200万画素 (FullHD) / 100万画像 (HD) / 35万画素 (D1)	
	録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
		HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
		D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
	録画画角	FullHD	水平 117°、垂直 62°、対角 141°
HD		水平 117°、垂直 62°、対角 141°	
D1		水平 94°、垂直 62°、対角 115°	
録画圧縮	録画 AVI(H.264)、静止画 JPEG		
録画トリガ	通常時	常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画	
	パーキングモード時	常時録画 / 常時録画+イベント録画 / モーション録画+イベント録画	
タイムラプス録画	有り		
GPS	有り		
HDR	有り		
3G センサー	有り (衝撃感度 10 段階)		
対応外部記憶媒体	microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠)、 64GB ~ 128GB (クラス 10/SDXC 規格準拠)、 その他、スピードクラスとして下記以上を推奨 SD スピード Class : Class 10 UHS スピードクラス : U1 以上 Video スピードクラス : V30 以上 * 弊社オプション microSD カード推奨		
記録データ	日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル		
音声録音	有り (オン、オフ設定可)		
外部映像出力	無し		
インターネット地図連動	有り		
レーダー受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式		
レーダー受信周波数	Xバンド、Kバンド		
電源電圧	DC5V (DC12 / 24V-5V 変換コード付属)		

動作温度範囲	- 10℃ ~ +60℃
本体サイズ	109 (W) × 30.5 (D) × 92 (H) mm (突起部含まず)
本体重量	185g
別体カメラサイズ	34.5(W) × 16(D) × 34.5(H) mm (突起部含まず) ・ マウントベース取り付け時 59(H) mm
別体カメラ重量	28g
カメラ接続コード	9.0m (片側ストレートプラグ)
VCCI	クラス B
保証期間	3年

☑ Check

- ・ 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。
- ・ 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートがかわる場合があります。

■ 通常時の録画可能時間の目安

* パーキングモード オフ時 * 10fps 設定時の常時録画は約3倍の録画時間になります。

microSD カードの容量		高画質		標準		低画質	
		常時	イベント	常時	イベント	常時	イベント
8GB	FHD	25分	7分	31分	8分	37分	10分
	HD	43分	11分	62分	16分	93分	24分
	D1	103分	24分	139分	31分	215分	39分
16GB	FHD	49分	13分	60分	16分	72分	19分
	HD	84分	22分	121分	32分	182分	47分
	D1	202分	47分	273分	61分	420分	77分
32GB	FHD	99分	26分	121分	32分	146分	38分
	HD	168分	44分	243分	65分	365分	95分
	D1	405分	95分	547分	123分	842分	154分
64GB	FHD	205分	54分	250分	67分	301分	79分
	HD	347分	90分	501分	134分	752分	195分
	D1	836分	195分	1129分	254分	1736分	318分
128G	FHD	405分	107分	495分	132分	594分	157分
	HD	686分	179分	991分	264分	1486分	386分
	D1	1651分	386分	2230分	502分	3430分	628分

■ パーキングモード「録画領域（大）」の録画可能時間の目安

* 10fps 設定時の常時録画は約 3 倍の録画時間になります。

microSD カード の容量	高画質			標準			低画質		
	常時	イベント	モーション	常時	イベント	モーション	常時	イベント	モーション
8GB	11分	3分	3分	26分	8分	8分	93分	20分	29分
16GB	21分	6分	6分	52分	16分	16分	181分	38分	56分
32GB	43分	13分	13分	105分	32分	32分	364分	77分	113分
64GB	88分	27分	27分	217分	67分	67分	751分	159分	234分
128GB	175分	53分	54分	428分	132分	133分	1483分	314分	463分

■ パーキングモード「録画領域（小）」の録画可能時間の目安

* 10fps 設定時の常時録画は約 3 倍の録画時間になります。

microSD カード の容量	高画質			標準			低画質		
	常時	イベント	モーション	常時	イベント	モーション	常時	イベント	モーション
8GB	5分	2分	2分	13分	5分	5分	46分	12分	17分
16GB	10分	4分	4分	26分	10分	9分	90分	23分	34分
32GB	21分	8分	8分	52分	19分	19分	182分	46分	68分
64GB	44分	16分	16分	108分	40分	40分	375分	95分	140分
128GB	87分	32分	32分	214分	79分	80分	741分	188分	278分

☑ Check

- 撮影の状況、被写体などにより録画ファイルのサイズは一定でないため、録画可能時間に差が生じる場合があります。
 - 上記は、あくまでも目安となります。
-

SD カードのディレクトリ構造について

第一階層	第二階層	ファイル	説明
[N_INFINITE]	[1] 本体カメラ	30fps : NN3_****.avi 10fps : NN1_****.avi	通常録画された常時録画ファイル、タイムラプス録画ファイルが保存されます。
	[2] 別体カメラ	NT3_****.avi	
[N_EVENT]	[1] 本体カメラ	30fps : NE3_****.avi	イベント録画 (クイック録画) ファイルが保存されます。
	[2] 別体カメラ	10fps : NE1_****.avi	
[P_INFINITE]	[1] 本体カメラ	30fps : PN3_****.avi 10fps : PN1_****.avi	パーキングモードでの常時録画ファイル、タイムラプス録画ファイルが保存されます。
	[2] 別体カメラ	PT3_****.avi	
[P_EVENT]	[1] 本体カメラ	30fps : PE3_****.avi	パーキングモードでのイベント録画 (クイック録画) ファイルが保存されます。
	[2] 別体カメラ	10fps : PE1_****.avi	
[P_MOTION]	[1] 本体カメラ	30fps : PM3_****.avi	パーキングモードでのモーション録画ファイルが保存されます。
	[2] 別体カメラ	10fps : PM1_****.avi	
[CAPTURE]	[1] 本体カメラ	****.jpg	静止画を撮影した場合に、静止画ファイルが保存されます。
	[2] 別体カメラ		
[CELLSTAR]			GPS データなどが格納されます。 工場出荷時はありません。

☑ Check

- ファイル名 (****) に年月日 - 時分秒 - インデックス (識別)_カメラ番号 (1 : 本体カメラ / 2 : 別体カメラ) が入ります。
 - パーキングモード設定により、SD カードの録画領域の比率が変動します。
 - 別体カメラを接続していない場合も、microSD メンテナンスフリー機能により、別体カメラのフォルダ、ならびに録画ファイル (黒い映像) が作成されます。
-

SD カードの録画領域について

■ パーキングモード オフ時（工場出荷時）

通常時録画		その他
常時	イベント	
74%	20%	6%

■ パーキングモード オン「録画領域（大）」時

通常時録画		パーキングモード録画			その他
常時	イベント	常時	イベント	モーション	
32%	10%	32%	10%	10%	6%

■ パーキングモード オン「録画領域（小）」時

通常時録画		パーキングモード録画			その他
常時	イベント	常時	イベント	モーション	
50%	16%	16%	6%	6%	6%

☑ Check

- ・ 録画領域の比率はあくまでも目安であり、これを保証するものではありません。
- ・ その他の領域は、撮影モードの静止画 (2%)、設定ファイル、GPS データなどで使用します。

アフターサービスについて

■ 修理に関して

■ 修理に必要なもの

- 取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- 修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要な事項をご記入のうえ、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。（保証期間に関わらず原則的に交換対応はおこなっておりません）

☑ Check

- 保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。
- 保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。
- 保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票に必要な事項をご記入のうえ、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

本書の修理受付票、または以下のアドレスからダウンロードしてください。

（修理受付票 PDF ダウンロード：48KB）

https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- (1) "故障かな?と思ったら"を参考に故障かどうかをご確認ください。
[➡ P89]
- (2) 弊社ホームページ「お客様サポート」-「よくあるご質問 (FAQ)」をご確認ください。
- (3) 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

https://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要な事項をご記入のうえ、製品に添付してください。
- 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。
- 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しはおこなっておりません。

■ 修理の流れ

(1) ご不明な点は、セルスター工業カスタマーサービスにご連絡ください。

 **0570-006867 (ナビダイヤル)**

 **0120-75-6867 (フリーダイヤル)**

【受付時間】 9:00～18:00

(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合：

0570-006867

- 修理する製品、保証書をお手元にご用意のうえでおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

(2) 修理品の送付先

セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145

三重県伊賀市安場 1608-5

TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態にもどります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。
- 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。
- 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。(処分依頼はお受けいたしかねますので、ご返却させていただきます)

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- (1) 弊社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- (2) 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：RD-60

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□□-□□□□
ご自宅電話番号：	
FAX 番号：	
日中ご連絡可能な電話番号：	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）

ご購入日：	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡 ・ 不要を選択の場合は、お見積り連絡はいたしかねます。 なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。
同梱した付属品： 合計（ ）点	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する できるだけ詳しくご記入ください。
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

修理品返却先 * 上記住所以外への返却の場合にご記入ください。

お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

お客様相談窓口

■ 電話でのお問い合わせ

〈個人のお客様〉カスタマーサービス

[受付時間] 9:00～18:00 (土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

 **0570-006867** (ナビダイヤル)

 0120-75-6867 (フリーダイヤル)

携帯電話・PHS・IP 電話などフリーダイヤルが
ご利用になれない場合：0570-006867

〈法人のお客様〉セルスター工業株式会社 本社 (代)

[受付時間] 9:00～18:00 (土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■ メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問 (FAQ) より

質問を送信してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



セルスター工業 拠点一覧

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

北海道地区	札幌営業所	〒004-0842	北海道札幌市清田区清田二条3-2-1	T 011-882-1225(代)/F 011-881-7251
東北地区	仙台営業所	〒981-3117	宮城県仙台市泉区市名坂字原田158	T 022-218-1100(代)/F 022-218-1110
北関東・新潟地区	水戸営業所	〒310-0903	茨城県水戸市堀町795-2	T 029-254-6911(代)/F 029-255-1420
関東地区	本社	〒242-0002	神奈川県大和市つきみ野7-17-29	T 046-273-1100(代)/F 046-273-1106
東海・北陸地区	名古屋営業所	〒453-0021	愛知県名古屋市中村区松原町5-7-1	T 052-307-5733(代)/F 052-307-5737
関西・中国・四国地区	大阪支店	〒562-0004	大阪府箕面市牧落3-8-7	T 072-722-1880(代)/F 072-722-5575
九州・沖縄地区	福岡営業所	〒811-1314	福岡県福岡市南区的場二丁目15番16号	T 092-588-1101(代)/F 092-588-0057

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]

[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

<https://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR **セルスター工業株式会社**

PP-E371MN-A 2023.7